

消防団員アンケート 調査結果報告書 (全体版)

令和7(2025)年10月

長野県

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回答状況	1
6. 調査項目	1
7. 報告書の見方	2

第2章 調査の結果

1. 回答者の属性	3
2. 消防団活動について	7
3. 長野県で行っている消防団に関する施策について	21
4. 所属している消防団について	30
5. 消防団での取組み等について	40

第3章 参考資料

1. 調査項目詳細	54
-----------	----

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

長野県内の消防団員を対象として、長野県がこれまで実施している消防団の施策や制度についての認知度を始め、団員の消防団活動に対する意識や多様な意見を把握し、今後の施策立案や評価、検証のために実施するもの。

2. 調査対象

長野県内の消防団員（令和6年4月1日現在 28,717名）

3. 調査方法

インターネットを利用したWebアンケート調査

4. 調査期間

令和7年1月27日（月）から令和7年2月16日（日）まで

5. 回答状況

有効回答数：6,123件 有効回答率：21.3%

6. 調査項目

1 回答者の属性

年齢、性別、主たる職業、所属している消防団の地域、消防団の加入期間、階級

2 消防団活動について

- ・入団したきっかけ
- ・入団理由
- ・消防団での主な活動
- ・消防団活動のやりがい
- ・消防団活動を通じてよかったこと
- ・消防団活動を通じて負担（不満）に感じたこと（もの）
- ・消防団の団員数について

3 長野県で行っている消防団に関する施策について

- ・「信州消防団員応援ショップ事業」について
- ・「消防団協力事業所に関する優遇措置（事業税の減税等）」について

4 所属している消防団について

- ・団員確保のために働きかけた方がよい対象者及び取り組むべき内容
- ・消防団活動の継続が困難と思う理由
- ・消防団活動を充実させるために必要な取り組みや改善

5 消防団での取り組み等について

- ・消防団での取り組みに対する評価及び改善が必要な場合はその理由

- ・ 県や市町村に求める取組み

7. 報告書の見方

- ・ 表に使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・ 比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- ・ 複数回答の場合、百分率の合計が100%を上回ることがある。

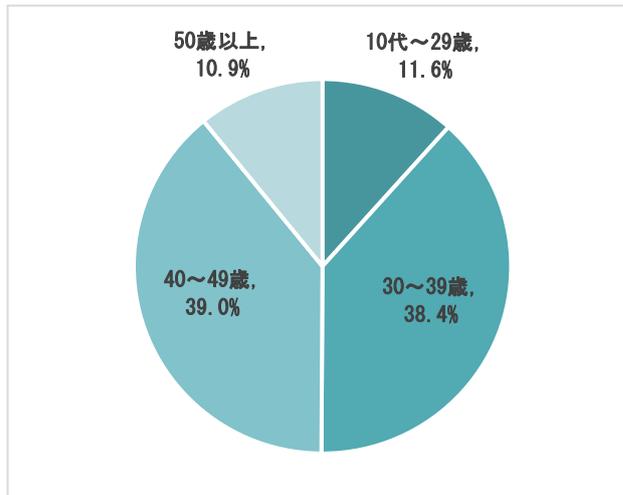
第2章 調査の結果

1 回答者の属性

問1 あなたの年齢を選択してください。(令和7年1月1日時点)(選択は1つ)

n=6,123

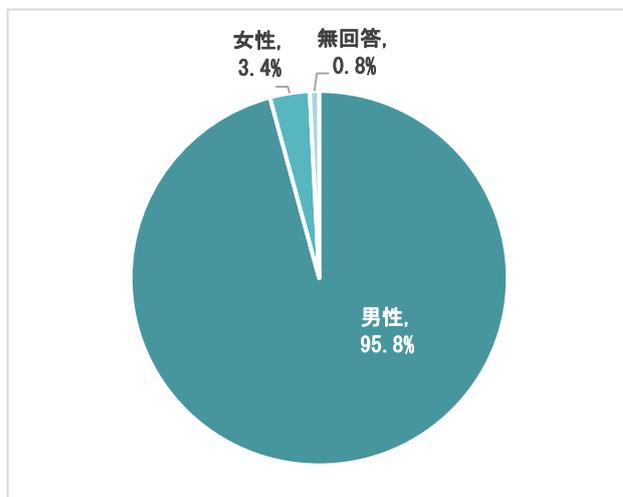
	回答数	割合 (%)
10代～29歳	713	11.6
30～39歳	2,354	38.4
40～49歳	2,391	39.0
50歳以上	665	10.9



問2 あなたの性別を選択してください。(選択は1つ)

n=6,123

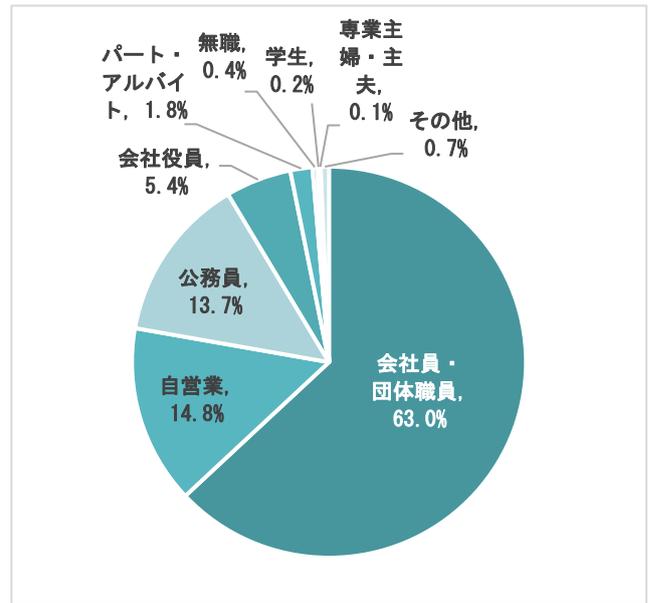
	回答数	割合 (%)
男性	5,867	95.8
女性	210	3.4
無回答	46	0.8



問3 あなたの主たるご職業を選択してください。(選択は1つ)

n=6,123

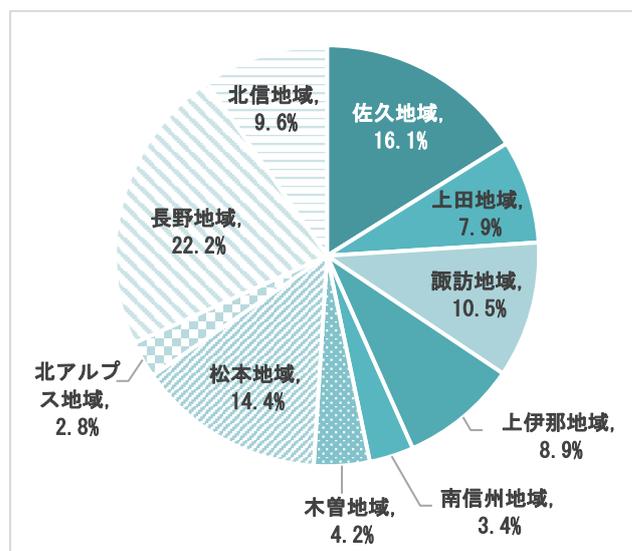
	回答数	割合 (%)
会社員・団体職員	3,858	63.0
自営業	905	14.8
公務員	836	13.7
会社役員	331	5.4
パート・アルバイト	111	1.8
無職	23	0.4
学生	14	0.2
専業主婦・主夫	4	0.1
その他	41	0.7



問4 あなたの所属している消防団の地域を選択してください。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
佐久地域	983	16.1
上田地域	486	7.9
諏訪地域	640	10.5
上伊那地域	547	8.9
南信州地域	207	3.4
木曽地域	260	4.2
松本地域	879	14.4
北アルプス地域	173	2.8
長野地域	1,359	22.2
北信地域	589	9.6



※長野県 10 地域区分

佐久地域…小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町

上田地域…上田市、東御市、長和町、青木村

諏訪地域…岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村

上伊那地域…伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

南信州地域…飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

木曽地域…上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村

松本地域…松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村

北アルプス地域…大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村

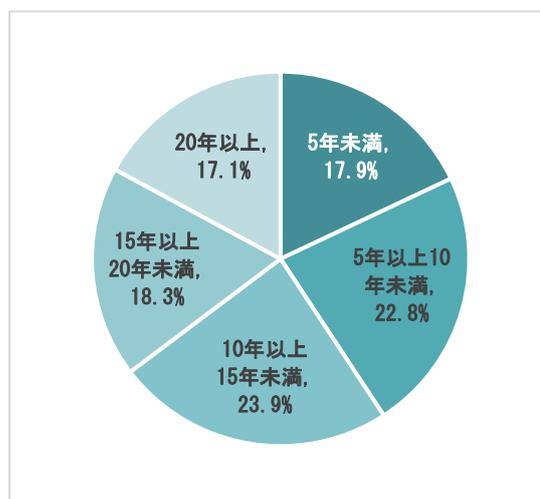
長野地域…長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村

北信地域…中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村

問5 あなたが現在所属している消防団の加入期間を選択してください。(令和7年1月1日時点)
(選択は1つ)

n=6,123

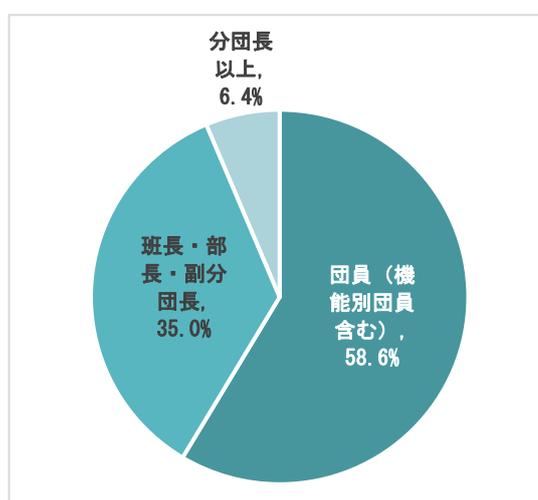
	回答数	割合 (%)
5年未満	1,099	17.9
5年以上10年未満	1,398	22.8
10年以上15年未満	1,463	23.9
15年以上20年未満	1,118	18.3
20年以上	1,045	17.1



問6 あなたの階級を選択してください。(令和7年1月1日時点) (選択は1つ)

n=6,123

	回答数	割合 (%)
団員 (機能別団員含む)	3,588	58.6
班長・部長・副分団長	2,146	35.0
分団長以上	389	6.4

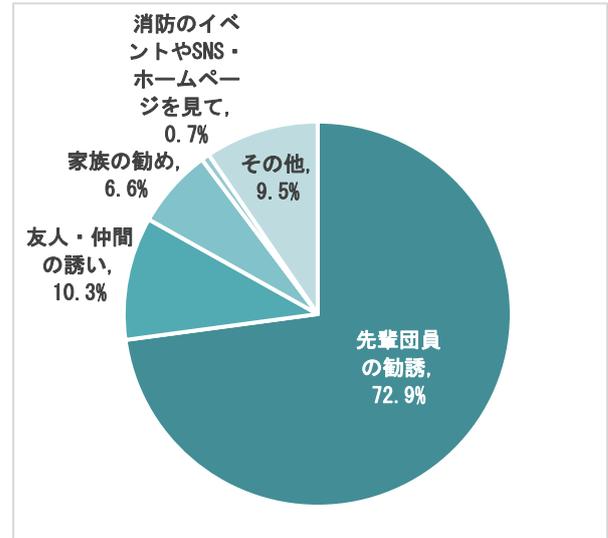


2 消防団活動について

問7 あなたが消防団に入団したきっかけについて、最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
先輩団員の勧誘	4, 461	72. 9
友人・仲間の誘い	632	10. 3
家族の勧め	407	6. 6
消防のイベントやSNS・ホームページを見て	42	0. 7
その他	581	9. 5



クロス集計表

(%)

		先輩団員の勧誘	家族の勧め	友人・仲間の誘い	消防のイベントやSNS・ホームページを見て	その他
全体		72.9	6.6	10.3	0.7	9.5
年齢	10代～29歳	68.7	12.5	5.8	1.4	11.6
	30～39歳	74.0	7.1	9.6	0.5	9.0
	40～49歳	74.7	4.9	11.9	0.4	8.1
	50歳以上	66.8	5.3	12.3	1.7	14.0
性別	男性	73.8	6.7	9.9	0.4	9.1
	女性	47.6	4.8	21.9	7.1	18.6
	無回答	67.4	2.2	8.7	4.3	17.4
加入期間	5年未満	67.2	7.4	11.6	2.2	11.7
	5年以上10年未満	71.1	6.2	11.2	0.7	10.8
	10年以上15年未満	73.7	5.9	10.9	0.3	9.2
	15年以上20年未満	77.5	5.3	10.9	0.2	6.1
	20年以上	75.0	9.0	6.3	0.2	9.5

年齢別にみると、10代～29歳では「家族の勧め」が他の年齢と比べると最も高い。

性別にみると、女性は「友人・仲間の誘い」が男性よりも上回っている。

加入期間別でみると、加入期間が短くなるほど「友人・仲間の誘い」、「消防のイベントやSNS・ホームページを見て」の割合が高くなる傾向がある。

その他記述の内容（問7）

記述内容を分類ごとに集計

n=581

記述内容の分類	件数
強制、半強制、無理やり	161
職場等での勧誘、仕事の都合	125
地域の慣例、決まり、地域住民からの勧誘	111
親族や先輩、親しい人等の影響	56
地域貢献や防災への関心、消防団の活動を見て（自主的に）	49
上記以外の意見	79

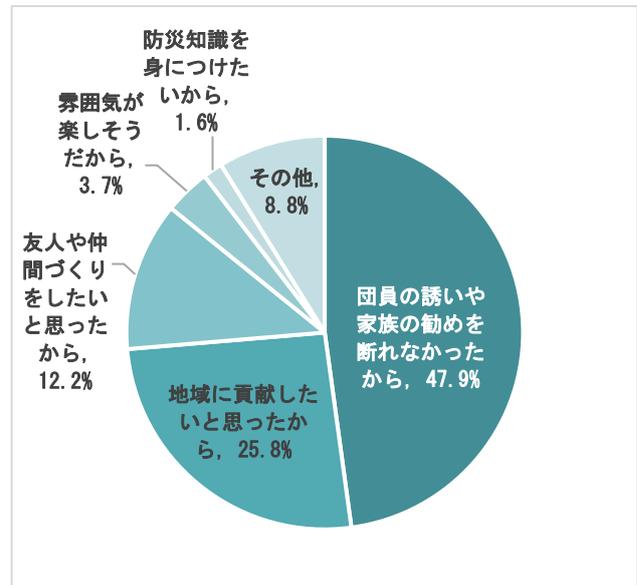
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 職場の雰囲気的に、消防団の加入は半強制的なものだった。
・ 村営住宅の入居者は半強制的に入団。
・ 半強制的に地元の人から加入を迫られた。
・ 地域の選任。
・ 家に帰ったら法被が置いてあった。
・ 自分が消防団活動をやりたと思ったから。
・ 地元に戻ってきたことをきっかけに。
・ 2019年台風19号災害で近所の消防団の活動を見て。
・ 元々地域防災に強い消防団に興味があった。
・ 消防吏員を目指していたため。
・ 近所でボヤがあった時に誰も消火栓を切れなかったことを受けて。
・ 有事の際何もできないのは嫌だから。
・ 2011年東日本大震災をきっかけに。
・ 消防団の制服を着たいのと、地域貢献。
・ 救護の知識を得るため。
・ 地域になじむため。
・ 仲間をつくるきっかけ。
・ 他県から来て地域に馴染むため。
・ 周りに知り合いがいなかったため。
・ 移住した際に入団しなければならないと伝えられたため。
・ ラッパ隊に興味があったから。
・ 市（町村）の広報誌。
・ 機能別が組織化することによる募集。
・ 担当地域の企業代表として。
・ 加入したいと思っていたところ勧誘を受けた。

問8 あなたが消防団に入団した理由について、最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
団員の誘いや家族の勧めを断れなかったから	2,930	47.9
地域に貢献したいと思ったから	1,580	25.8
友人や仲間づくりをしたいと思ったから	749	12.2
雰囲気が楽しそうだから	229	3.7
防災知識を身につけたいから	99	1.6
その他	536	8.8



クロス集計表

(%)

		地域に貢献したいと思ったから	友人や仲間づくりをしたいと思ったから	雰囲気が楽しそうだから	防災知識を身につけたいから	団員の誘いや家族の勧めを断れなかったから	その他
全体		25.8	12.2	3.7	1.6	47.9	8.8
年齢	10代～29歳	27.1	10.9	6.6	3.1	41.8	10.5
	30～39歳	21.5	11.9	4.0	1.8	51.9	8.8
	40～49歳	26.2	13.8	2.9	1.0	47.7	8.4
	50歳以上	38.2	9.0	2.7	1.5	40.5	8.1
性別	男性	25.7	12.2	3.4	1.4	48.7	8.6
	女性	31.0	13.3	13.3	7.1	23.8	11.4
	無回答	19.6	8.7	0.0	2.2	50.0	19.6
加入期間	5年未満	29.4	14.7	4.3	3.4	39.2	9.0
	5年以上10年未満	24.5	12.5	4.0	1.9	47.9	9.2
	10年以上15年未満	23.4	13.1	3.4	1.3	50.8	8.0
	15年以上20年未満	24.1	11.4	4.6	1.0	50.8	8.1
	20年以上	29.0	8.9	2.4	0.5	49.6	9.7

「団員の誘いや家族の勧めを断れなかったから」が年齢別、加入期間別とも最も高いが、加入期間が5年未満では、「団員の誘いや家族の勧めを断れなかったから」以外の項目で、平均より高くなっている。

その他記述の内容（問8）

記述内容を分類ごとに集計

n=536

記述内容の分類	件数
強制だった、家族や他人の勧めを断れなかった、仕方なく	219
地元で暮らしていくため、地域のため	81
職場での条件や勧誘、職業柄	77
親族や先輩、親しい人等が加入している（していた）影響	26
消防士（消防団員）になりたい（なりたかった）から、火事の経験や火事等があった際の対処方法を身に付けたいから	22
上記以外の意見	111

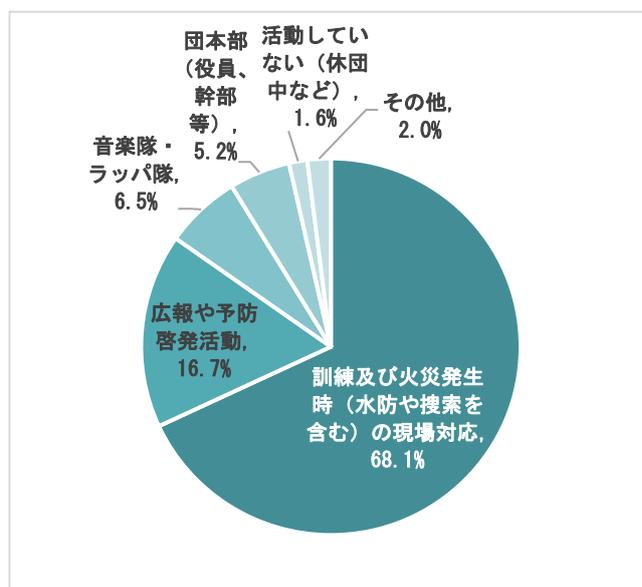
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 公務員になるために仕方なく。
・ 仕事に活かすため。
・ 団員2名居ると、入札、法人税で有利。
・ 職場で必ず消防団に入るという決まりがあったため。
・ 地域の持ち回りのため断る選択はなかった。
・ 子供達が地域活動に出やすくするため。
・ 地域のために頼まれたから。
・ Uターン組だったので地元のコミュニティを広げるため。
・ 地元に残るならやっておいた方がよいと親に言われて。
・ 友人、知人が入団していたから。
・ 一緒に入団する友達に説得されたから。
・ 小学生の頃からの夢だったから。
・ 消防士になりたいので受かるまでの期間技術を身につけ勉強のため。
・ 消防活動に興味があった。
・ 操法大会がかっこよかったから。
・ 小さい頃、消防団ラッパ隊の吹奏、活動を見てやりたいと思った。
・ 音楽隊に入りたかった。
・ 報酬が出ると言われたから。
・ 地区の会議で団員が少なく困っていると聞いたので。
・ いつかは入団しないといけないと思っていたから。
・ OBであった父の活躍を見て、入団は必然と思った。
・ 家族や周りの方に何かあった時、少しでも役に立てると思ったから。
・ 仮に自宅で火災が起きたとき、何もできないのが嫌だったから。
・ 入団前年に、近所で火事があり力になれなかった。
・ 御柱祭に多くの団員が携わっていたため。

問9 現在、あなたは消防団では主にどのような活動をしていますか。最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
訓練及び火災発生時(水防や捜索を含む)の現場対応	4,168	68.1
広報や予防啓発活動	1,022	16.7
音楽隊・ラッパ隊	397	6.5
団本部(役員、幹部等)	319	5.2
活動していない(休団中など)	95	1.6
その他	122	2.0



クロス集計表

(%)

		訓練及び火災発生時(水防や捜索を含む)の現場対応	広報や予防啓発活動	音楽隊・ラッパ隊	団本部(役員、幹部等)	活動していない(休団中など)	その他
全体		68.1	16.7	6.5	5.2	1.6	2.0
年齢	10代~29歳	66.3	19.8	7.7	1.7	2.1	2.4
	30~39歳	69.6	16.6	6.8	3.3	1.8	1.9
	40~49歳	69.5	15.6	5.4	6.3	1.2	2.0
	50歳以上	59.4	17.4	7.8	12.0	1.5	1.8
性別	男性	69.6	16.1	5.7	5.4	1.4	1.8
	女性	27.1	33.3	25.7	2.4	4.3	7.1
	無回答	56.5	10.9	19.6	0.0	4.3	8.7
加入期間	5年未満	66.8	20.9	5.7	1.5	2.5	2.5
	5年以上10年未満	69.4	18.6	6.4	2.4	1.9	1.3
	10年以上15年未満	70.1	14.6	6.8	4.8	1.4	2.3
	15年以上20年未満	68.2	14.8	7.0	7.2	0.9	2.1
	20年以上	64.7	14.6	6.4	11.3	1.0	2.0

「訓練及び火災発生時(水防や捜索を含む)の現場対応」が年齢別、加入期間別とも最も高いが、「広報や予防啓発活動」は男性より女性が高く、また加入期間別で10年未満が平均より高くなっている。

その他記述の内容（問9）

記述内容を分類ごとに集計

n=122

記述内容の分類	件数
選択肢内の複数業務を兼務	27
夜警および警戒活動、巡回	13
機能別消防団員（バイク隊や女性隊を含む）として特定の活動のみ参加	13
仕事や家庭等の都合であまり活動をしていない	11
救護活動	10
上記以外の意見	48

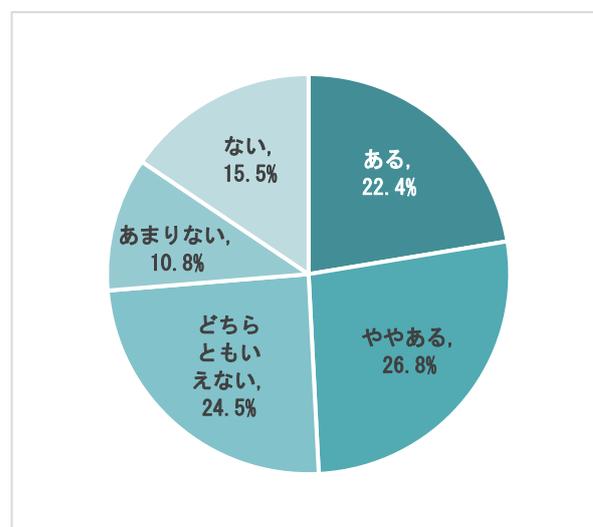
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 団員が少ないため、ラッパと現場対応を兼ねている。
・ 訓練、有事出動のほかラッパ隊も兼任。
・ 夜間警戒。
・ 地域行事の警戒。
・ 半鐘と巡視。
・ 女性隊にて後方支援。
・ 機能別団員のため有事の際の対応のみ。
・ ドローンなどによる記録係。
・ 救護隊としての現場対応、応急手当の普及。
・ 転職先が市外のため活動は休みがち。
・ 活動していない。子供が産まれたら正当に休める制度がほしい。
・ 居住地が遠方のため活動に参加できていない。
・ 地域の作業や大会のための練習など。
・ ポンプ操法の練習。
・ 操法大会の練習や出初式など行事の参加。
・ 活動できる時の行事に活動している。
・ 訓練や火災予防パレードの参加。
・ 団本部で団主催行事の運営。
・ 消火栓点検や防火水槽の清掃他地域の消防設備の維持管理。
・ 機関手入れ。
・ 現場対応及び団員の育成。
・ 分団の会計業務。

問 10 あなたにとって、消防団活動はやりがいがありますか。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
ある	1, 370	22. 4
ややある	1, 642	26. 8
どちらともいえない	1, 500	24. 5
あまりない	662	10. 8
ない	949	15. 5



クロス集計表

(%)

		ある	ややある	どちらともいえない	あまりない	ない
全体		22. 4	26. 8	24. 5	10. 8	15. 5
年齢	10代～29歳	24. 5	28. 5	20. 5	11. 1	15. 4
	30～39歳	17. 3	25. 1	25. 4	12. 0	20. 1
	40～49歳	22. 8	27. 4	26. 1	10. 6	13. 1
	50歳以上	36. 5	29. 0	19. 7	7. 1	7. 7
性別	男性	21. 9	26. 6	24. 9	11. 0	15. 7
	女性	37. 6	34. 3	14. 3	7. 6	6. 2
	無回答	10. 9	21. 7	23. 9	6. 5	37. 0
加入期間	5年未満	22. 0	29. 1	23. 4	10. 2	15. 3
	5年以上10年未満	17. 2	27. 3	23. 5	12. 7	19. 3
	10年以上15年未満	20. 2	26. 5	24. 7	11. 2	17. 4
	15年以上20年未満	23. 4	26. 7	25. 8	10. 8	13. 2
	20年以上	31. 6	24. 4	25. 4	8. 3	10. 3

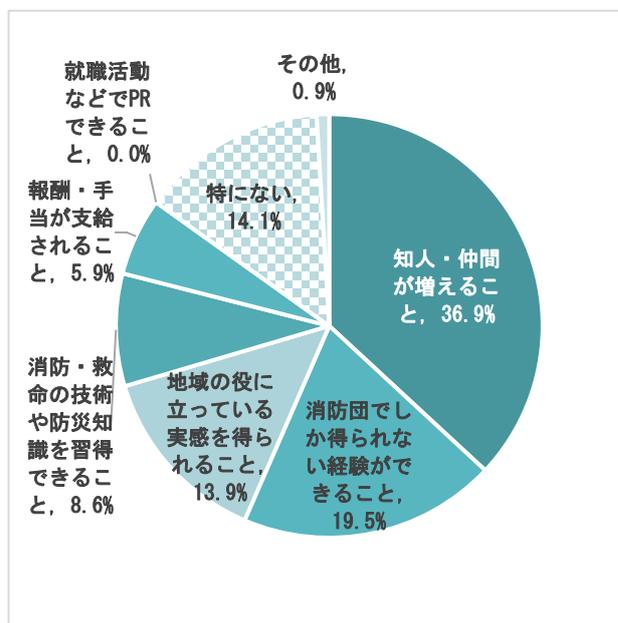
消防団活動でのやりがいについては、「ややある」「ある」の両者を合わせた《ある》は約5割を占めている。

「ある」と回答したのは、年齢別にみると50歳以上、性別にみると女性、加入期間別にみると20年以上が最も高くなっている。

問11 あなたが、消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか。最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
知人・仲間が増えること	2, 262	36. 9
消防団でしか得られない経験ができること	1, 197	19. 5
地域の役に立っている実感を得られること	852	13. 9
消防・救命の技術や防災知識を習得できること	526	8. 6
報酬・手当が支給されること	363	5. 9
就職活動などで PR できること	1	0. 0
特にない	864	14. 1
その他	58	0. 9



クロス集計表

(%)

		地域の役に立っている実感を得られること	消防団でしか得られない経験ができること	消防・救命の技術や防災知識を習得できること	知人・仲間が増えること	就職活動などでPRできること	報酬・手当が支給されること	特にない	その他
全体		13.9	19.5	8.6	36.9	0.0	5.9	14.1	0.9
年齢	10代～29歳	11.9	24.0	10.4	26.5	0.0	10.9	15.7	0.6
	30～39歳	10.4	16.0	9.1	40.4	0.0	7.2	15.9	0.9
	40～49歳	14.8	19.9	7.7	39.2	0.0	4.3	13.0	1.2
	50歳以上	25.3	26.3	8.3	27.7	0.0	2.0	10.1	0.5
性別	男性	14.0	19.1	8.2	37.5	0.0	5.9	14.3	0.9
	女性	12.4	32.4	19.0	22.4	0.0	7.6	4.8	1.4
	無回答	6.5	21.7	6.5	32.6	0.0	0.0	28.3	4.3
加入期間	5年未満	13.5	19.1	9.3	30.9	0.1	9.1	16.7	1.3
	5年以上10年未満	12.7	16.5	8.9	37.2	0.0	7.9	16.4	0.4
	10年以上15年未満	12.6	18.1	8.4	40.1	0.0	5.7	14.1	1.0
	15年以上20年未満	15.5	20.3	8.4	38.6	0.0	3.3	12.4	1.4
	20年以上	16.2	25.3	7.9	36.7	0.0	3.1	10.0	0.8

「知人・仲間が増えること」「消防団でしか得られない経験ができること」に次いで、10代～29歳では「消防・救命の技術や防災知識を習得できること」「報酬・手当が支給されること」が他の年代より高い。

その他記述の内容（問 11）

記述内容を分類ごとに集計

n=58

記述内容の分類	件数
地域とのつながりをもつことができること	12
社会貢献ができること、地域のためにできること	10
知識の習得や自己成長ができること	3
よかったと感じることはない、負担に感じる	19
上記以外の意見	14

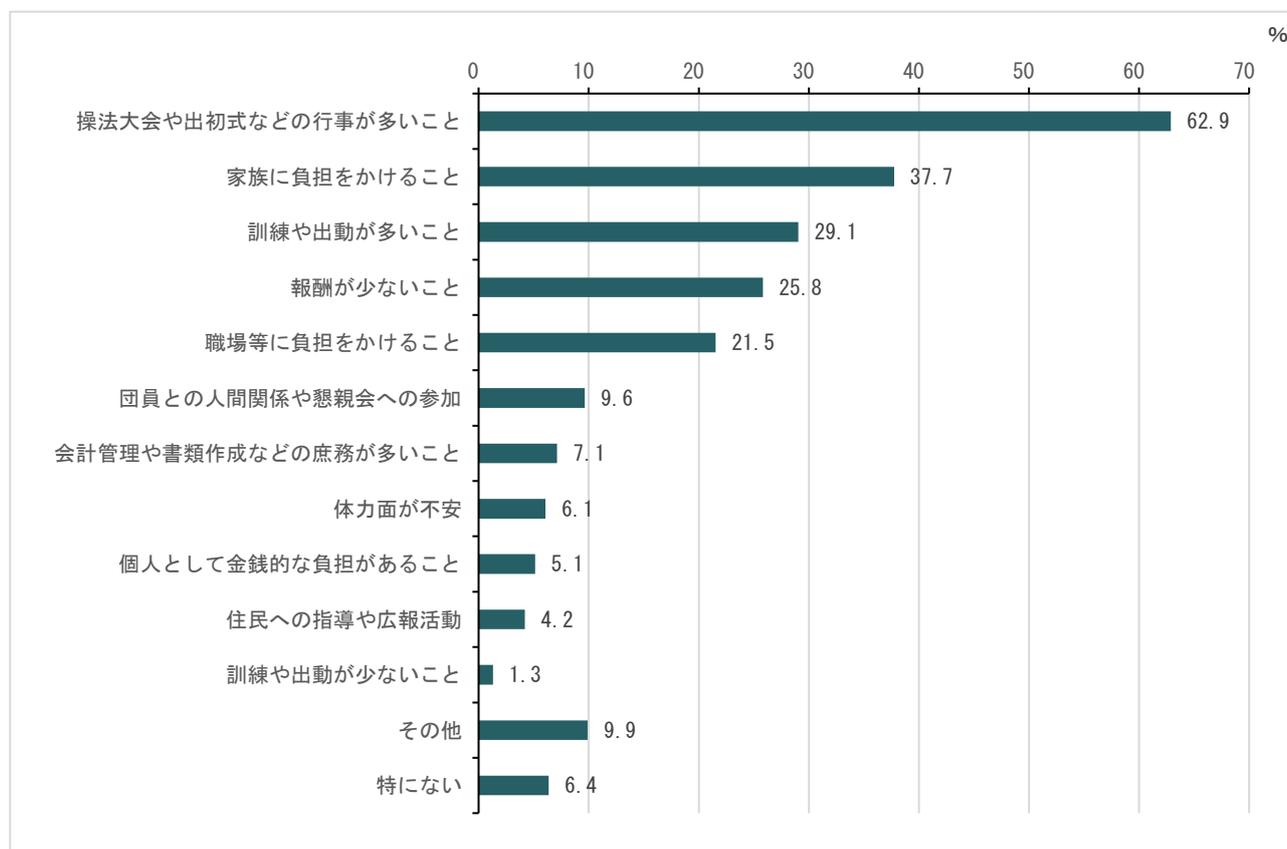
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 人間関係の幅が広がった。
・ 地域の人との会話がしやすくなる。
・ 子供の時から遊んでいた仲間と繋がれていること。
・ 地元のことを幅広い世代と一緒に考えて活動できるのはよいことだ。
・ 地域活動の入門編と思う。
・ 火事を間にあたりにし、地域防災意識が高まった。
・ 地域の問題点に実感を持って気がつけた。
・ 貢献してる実感は無いが、喜んでくれる方がいるのは嬉しい。
・ 災害現場で覚えておいた方がよい、知識や技術を教えることができた。
・ 規律による人間性の成長を感じることができた。
・ 少し仕事受注先が増えた。

問12 あなたが、消防団活動で負担（不満）に感じること（もの）は何ですか。（特に当てはまるものを3つまで）

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
操法大会や出初式などの行事が多いこと	3, 850	62. 9
家族に負担をかけること	2, 311	37. 7
訓練や出動が多いこと	1, 779	29. 1
報酬が少ないこと	1, 581	25. 8
職場等に負担をかけること	1, 319	21. 5
団員との人間関係や懇親会への参加	590	9. 6
会計管理や書類作成などの庶務が多いこと	436	7. 1
体力面が不安	372	6. 1
個人として金銭的な負担があること	315	5. 1
住民への指導や広報活動	257	4. 2
訓練や出動が少ないこと	80	1. 3
その他	607	9. 9
特にない	389	6. 4



		訓練や出動が多いこと	訓練や出動が少ないこと	操法大会や出初式などの行事が多いこと	住民への指導や広報活動	体力面が不安	職場等に負担をかけること	家族に負担をかけること	団員との人間関係や懇親会への参加	個人として金銭的な負担があること	報酬が少ないこと	会計管理や書類作成などの庶務が多いこと	その他	特にない
全体		29.1	1.3	62.9	4.2	6.1	21.5	37.7	9.6	5.1	25.8	7.1	9.9	6.4
年齢	10代～29歳	29.7	1.5	55.0	3.6	4.6	16.5	21.9	11.4	2.7	30.9	2.2	7.3	12.9
	30～39歳	32.4	1.0	68.9	4.6	3.0	20.6	44.6	10.4	4.6	28.2	6.6	10.3	3.5
	40～49歳	28.0	1.3	63.6	4.0	6.9	24.3	39.1	8.7	6.1	23.9	8.9	10.2	5.1
	50歳以上	20.3	2.3	47.4	3.9	15.8	20.3	25.7	8.6	6.2	18.9	8.0	10.1	13.8
性別	男性	29.3	1.2	64.0	4.2	6.0	22.0	38.2	9.7	5.2	26.3	7.1	9.7	5.7
	女性	21.0	2.4	32.9	3.3	8.6	10.5	22.9	7.6	3.3	15.7	6.7	10.5	24.3
	無回答	30.4	4.3	60.9	6.5	4.3	10.9	47.8	15.2	2.2	15.2	6.5	28.3	4.3
加入期間	5年未満	26.2	1.0	55.1	3.7	7.7	19.0	29.9	12.4	3.5	24.8	2.2	7.4	12.2
	5年以上 10年未満	31.4	0.9	67.2	3.6	4.9	21.6	38.1	10.5	4.5	27.3	5.7	10.2	5.1
	10年以上 15年未満	30.1	1.6	67.7	4.6	4.6	21.1	42.7	10.1	5.6	26.4	8.4	10.0	3.7
	15年以上 20年未満	29.8	1.3	64.0	4.8	5.5	23.2	40.4	7.4	5.5	26.4	9.5	11.7	4.8
	20年以上	26.7	1.7	57.2	4.3	8.5	23.1	35.7	7.3	6.6	23.5	9.9	10.1	7.3

年齢別、性別、加入期間別の全てにおいて、「操法大会や出初式などの行事が多いこと」が最も高くなっている。また、年齢別では30歳以上、加入期間では全ての区分において、「家族に負担をかけること」が次に高くなっている。

性別でみると、男性では「家族に負担をかけること」が次に高い結果となっている一方、女性は「特にない」が次に高い。

その他記述の内容（問 12）

記述内容を分類ごとに集計

n=607

記述内容の分類	件数
辞めたくても辞められない、退団の見通しが立たない	94
操法に関する訓練や大会、行事が多いこと、参加することによる負担が大きいこと	77
消防団員が不足していること、団員の確保が困難であること	69
拘束時間が長いこと、休日の活動があること、仕事が重なり活動に参加できないこと	56
新入団員の勧誘	46
上記以外の意見	265

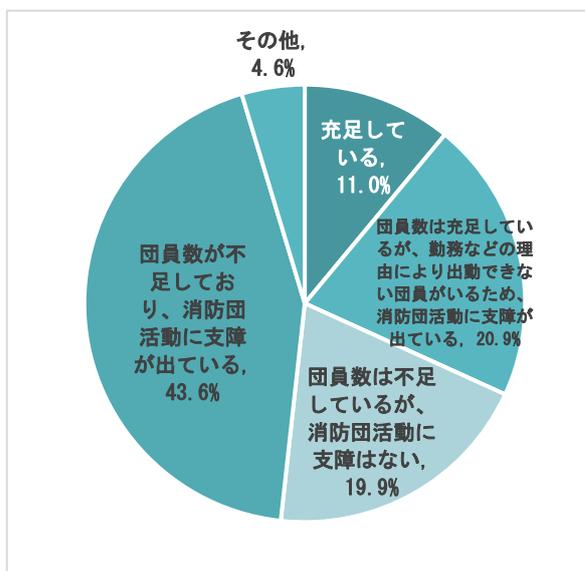
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ ポンプ車が AT じゃない。
・ 出席できる人が少なく、特定の人に負担がかかっている。
・ 消火活動に必要なないラッパ吹奏。
・ 団に支給される活動費が無いので皆でお金を負担している。
・ 報酬は一旦個人に入るが、結局は団に回収されてしまう。
・ 訓練、行事等で仕事を休まないといけないので収入が減ること。
・ 過疎化が進むせいか戸数が減り、分団の活動財源が縮小してること。
・ 地域行事(会議や祭)への参加が多い。
・ 会議が多く仕事に影響すること。
・ OB が求める操法大会と消防団本来の求められる役割の差異。
・ 縦の関係が嫌だ。
・ 改革をしようと思っても中々できない。
・ 昔からの体制、体質を変えないところ。
・ 式典や法被や伝統など時代に合わないことが多い。
・ 地域から活動に対し理解が得られていないこと。
・ 移住者が消防団に対して無関心なところ。
・ 操法大会に向けた練習は家族の理解が得られない。
・ 部長以上になると色々な行事ごと、会議が多くて大変に感じる。
・ 地区の他役と兼務しなければならないこと。
・ 市外住みなので、年末警戒等遅い時間に終わってから帰宅が大変。
・ 飲み会が多い。
・ 可搬やポンプ車の正しい使い方が学べない。
・ 操法選手以外は訓練する機会が少なく会得が難しい。
・ 実戦で使える知識や技術が身につけていないこと。

問 13 あなたが現在所属している消防団の団員数は、消防団活動を行うにあたって充足していますか。又は支障がありますか。(選択は1つ)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
充足している	672	11.0
団員数は充足しているが、勤務などの理由により出動できない団員がいるため、消防団活動に支障が出ている	1,277	20.9
団員数は不足しているが、消防団活動に支障はない	1,219	19.9
団員数が不足しており、消防団活動に支障が出ている	2,672	43.6
その他	283	4.6



クロス集計表

(%)

		充足している	団員数は充足しているが、勤務などの理由により出動できない団員がいるため、消防団活動に支障が出ている	団員数は不足しているが、消防団活動に支障はない	団員数が不足しており、消防団活動に支障が出ている	その他
全体		11.0	20.9	19.9	43.6	4.6
年齢	10代～29歳	20.6	17.4	24.5	32.5	4.9
	30～39歳	10.6	20.1	18.0	46.9	4.4
	40～49歳	8.7	22.2	19.4	45.2	4.5
	50歳以上	10.1	22.4	23.5	38.5	5.6
性別	男性	10.7	21.0	19.8	44.2	4.4
	女性	21.0	16.7	25.2	27.6	9.5
	無回答	4.3	15.2	15.2	50.0	15.2
加入期間	5年未満	21.8	18.3	25.3	28.0	6.6
	5年以上10年未満	12.7	22.3	19.7	41.4	3.8
	10年以上15年未満	7.2	20.2	18.5	49.4	4.6
	15年以上20年未満	6.6	21.8	17.7	49.8	4.0
	20年以上	7.1	21.4	18.8	48.3	4.4

「団員数が不足しており、消防団活動に支障が出ている」が年齢別、性別、加入期間別にみても、最も高い結果となった。全体で見ると、「団員数は不足している」が6割を超えている。

その他記述の内容（問13）

記述内容を分類ごとに集計

n=283

記述内容の分類	件数
分からない、不明	83
（充足、不足問わず）若い団員や新入団員が少ない、辞められない、高齢化してきている	67
充足しているが、実働している人数が少ない。決まった人しか実働していない	32
（充足、不足問わず）現在は支障ないが今後支障が出る可能性がある	12
上記以外の意見	89

その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 団員数は足りているが、新入団員が少なくて世代交代ができない。
・ 今は足りているが新しい人が入らないので今後不足する。
・ 充足させるために誰も辞められない状態にある。
・ 俗に言う幽霊団員が出てしまうため、実質は少ない人数で回している。
・ 同じ行事に同じ人ばかりが出動する機会が多く、偏っているように感じる。
・ 現時点ではあまりないがこれからは確実に支障が出る。
・ 今現在は充足しているが若い新しい団員の募集が進まず平均年齢が上がっている。
・ 現在は支障は無いが団員の高齢化が進みいずれは支障が出る。
・ 団員の年齢層が高齢のため、体力的に支障がある。
・ 定数を満たすことも大切だが、勤め人が主体の現代は、出動に際してどう人員確保するかが重要。
・ 充足しているが中規模以上の災害対応が未知数。
・ 団員数は不足に感じ、平日の勤務などで出動できる団員が少ない。
・ 団員数は充足しているが、オートマ限定免許者が多く、ポンプ車を運転できる団員が少ない。
・ 団員数は充足しているが、自動車班において免許上ポンプ車を運転できない班員が増えて活動に支障が出ている。
・ 実際の火災発生時に出動できる団員が少ない。
・ 充足しているが、地域の世帯数に対し団員の定員が多すぎる。定員数を減らし、持続できるようにする必要がある。
・ 団員数は充足しているが、勤務などの理由により出動できない団員がいるため、交流が少ない。
・ 訓練を受けないで災害現場に出動する者がいること。事故や怪我しないように、団員にも気を配らなければならない。
・ 女性なので、子育て中の団員が多く中々活動ができなく納得する活動ができていない。
・ 広報や夜警は問題ないが操法大会の時は厳しい。大会にしないで定期的に器具の扱いなどの訓練した方がよい。

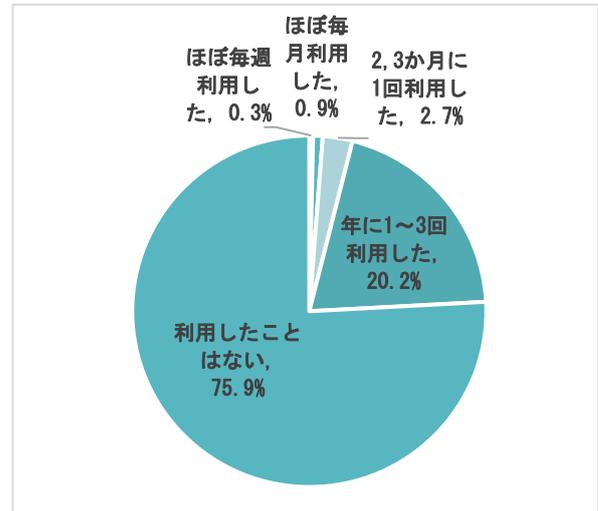
3 長野県で行っている消防団に関する施策について

問 14 令和6年1月から12月の間に、県で行っている「信州消防団員応援ショップ事業」※を利用したことがありますか。（選択は1つ）

※ 信州消防団員応援ショップ事業とは、応援ショップに登録している店舗で団員本人又は家族が信州消防団員カードを提示することにより、割引などのサービスを受けることができる事業のことです。

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
ほぼ毎週利用した	21	0.3
ほぼ毎月利用した	54	0.9
2,3 か月に1回利用した	166	2.7
年に1~3回利用した	1,237	20.2
利用したことはない	4,645	75.9



クロス集計表

(%)

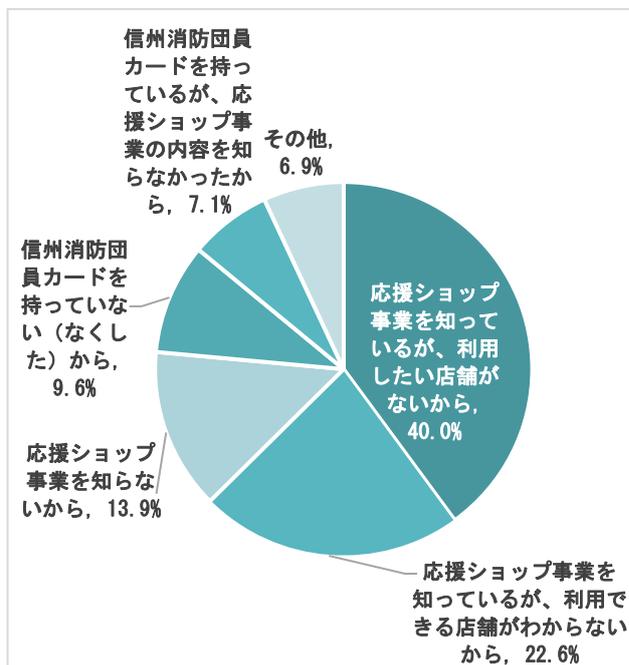
		ほぼ毎週利用した	ほぼ毎月利用した	2,3 か月に1回利用した	年に1~3回利用した	利用したことはない
全体		0.3	0.9	2.7	20.2	75.9
年齢	10代~29歳	0.4	1.3	3.2	13.5	81.6
	30~39歳	0.5	0.9	2.8	20.2	75.6
	40~49歳	0.3	0.8	2.4	21.6	74.9
	50歳以上	0.0	0.8	3.0	22.4	73.8
性別	男性	0.3	0.8	2.6	20.0	76.2
	女性	1.0	1.9	5.2	26.7	65.2
	無回答	0.0	2.2	0.0	10.9	87.0
加入期間	5年未満	0.5	0.5	2.4	12.9	83.7
	5年以上10年未満	0.1	1.1	2.4	17.7	78.7
	10年以上15年未満	0.6	1.1	2.9	22.1	73.3
	15年以上20年未満	0.4	0.5	3.7	23.7	71.7
	20年以上	0.1	1.1	2.1	24.9	71.9

信州消防団員応援ショップ事業の理由の有無は、「利用したことはない」が約7割を超える結果となった。年齢別にみると、10代~29歳、性別にみると、男性、加入期間別にみると、10年未満では「利用したことはない」が全体平均よりも上回っている。

問 14-2 「⑤ 利用したことはない」と回答した方にお尋ねします。利用したことがない理由を選択してください。(選択は1つ)

n=4,645

	回答数	割合 (%)
応援ショップ事業を知っているが、利用したい店舗がないから	1,856	40.0
応援ショップ事業を知っているが、利用できる店舗がわからないから	1,049	22.6
応援ショップ事業を知らないから	647	13.9
信州消防団員カードを持っていない(なくした)から	444	9.6
信州消防団員カードを持っているが、応援ショップ事業の内容を知らなかったから	328	7.1
その他	321	6.9



クロス集計表

(%)

		信州消防団員カードを持っていない(なくした)から	信州消防団員カードを持っているが、応援ショップ事業の内容を知らないから	信州消防団員カードを持っているが、利用できる店舗がわからないから	応援ショップ事業を知っているが、利用したい店舗がないから	応援ショップ事業を知らないから	その他
全体		9.6	7.1	22.6	40.0	13.9	6.9
年齢	10代~29歳	13.7	8.1	25.4	24.6	25.3	2.9
	30~39歳	10.8	7.1	21.7	38.7	14.9	6.7
	40~49歳	7.8	6.8	22.2	44.9	10.6	7.9
	50歳以上	6.5	6.9	23.8	44.8	9.2	8.8
性別	男性	9.5	7.1	22.4	40.2	13.7	7.0
	女性	10.2	6.6	29.9	33.6	17.5	2.2
	無回答	10.0	0.0	12.5	37.5	22.5	17.5
加入期間	5年未満	15.1	6.5	21.5	25.7	26.6	4.6
	5年以上10年未満	11.0	7.5	23.1	37.5	15.3	5.5
	10年以上15年未満	7.1	7.5	23.3	44.4	10.1	7.6
	15年以上20年未満	6.9	6.2	20.1	49.6	8.4	8.9
	20年以上	7.1	7.3	24.8	44.3	7.9	8.7

「応援ショップを知っているが、利用できる店舗がわからないから」は、年齢別にみると10代~29歳が他の年齢よりも高くなっている。また、年齢が若くなるほど「応援ショップ事業を知らないから」の割合が高くなる傾向にある。

その他記述の内容（問 14-2）

記述内容を分類ごとに集計

n=321

記述内容の分類	件数
メリットが少ない、魅力がない	59
対象店舗の少なさ、普段利用する店舗が対象外、使いたいと思う店舗がない	36
周知されていない、カードをもらっていない、期限切れしている	31
利用することやカードを提示するのが面倒、アプリにしてほしい	31
利用したくない、必要としていない	25
上記以外の意見	139

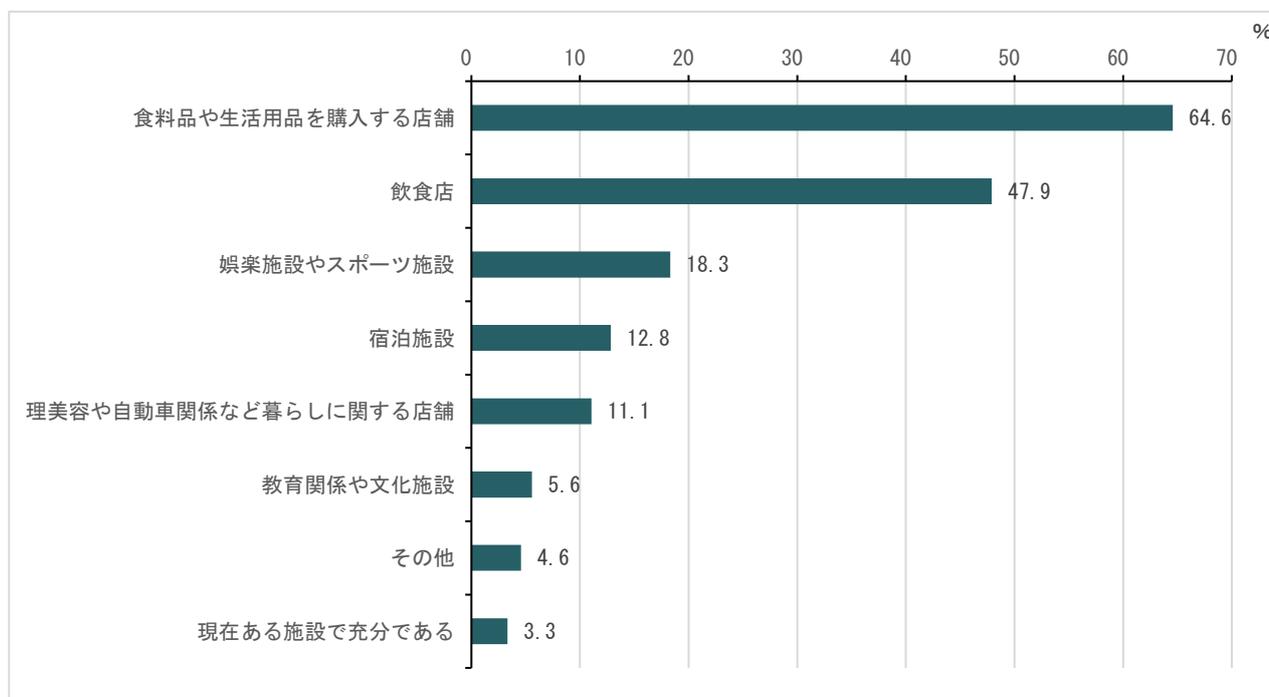
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 特に使用しなくてもよいと思ったから。
・ 違うカードの方がお得。併用できればメリットを感じるが…。
・ 近隣に応援ショップがない。
・ なかなか機会が無い。調べてまで対象の店舗へ赴く形でないため。
・ カードを携帯するのが面倒。使える店舗の確認が手間。
・ 応援ショップを検索するのが面倒。
・ 応援ショップ事業に関心が無い。
・ 他の割引等と重複していてどちらかのみで特に必要なかったりした。
・ カードの所持が不便。スマホで提示できれば使う。
・ 子育てパス等とサービス内容が一緒で、必要性を感じない。
・ 消防団員だから優遇してもらいたいと思っていない。
・ 団員であることを知られたくない。

問 15 今後、県内のどのようなジャンルの店舗が応援ショップに加わるとよいと思いますか。(特に当てはまるものを2つまで)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
食料品や生活用品を購入する店舗	3, 953	64. 6
飲食店	2, 933	47. 9
娯楽施設やスポーツ施設	1, 121	18. 3
宿泊施設	786	12. 8
理美容や自動車関係など暮らしに関する店舗	677	11. 1
教育関係や文化施設	342	5. 6
その他	279	4. 6
現在ある施設で充分である	204	3. 3



クロス集計表

(%)

		食料品や生活用品を 購入する店舗	教育関係や文化施設	娯楽施設やスポーツ 施設	飲食店	理美容や自動車関係 など暮らしに関する 店舗	宿泊施設	その他	現在ある施設で充分 である
全体		64.6	5.6	18.3	47.9	11.1	12.8	4.6	3.3
年齢	10代～29歳	58.3	4.5	27.5	44.6	14.9	10.2	1.7	5.3
	30～39歳	66.2	6.1	19.1	48.8	10.8	11.7	4.2	2.8
	40～49歳	64.1	5.9	17.0	47.5	10.5	14.0	5.4	3.4
	50歳以上	66.9	3.6	10.5	49.8	9.6	15.5	5.6	2.9
性別	男性	64.4	5.5	18.4	47.8	10.9	12.9	4.6	3.3
	女性	68.6	8.1	14.8	51.0	13.3	12.9	2.4	2.4
	無回答	60.9	4.3	23.9	45.7	17.4	2.2	4.3	6.5
加入期間	5年未満	62.8	5.7	22.5	45.8	10.6	11.1	2.9	4.2
	5年以上10年未満	64.9	5.5	19.7	47.1	11.2	12.8	3.7	3.6
	10年以上15年未満	65.6	7.2	18.9	47.8	10.3	12.4	5.7	2.9
	15年以上20年未満	65.0	5.3	15.2	49.3	11.4	13.0	5.1	2.8
	20年以上	64.0	3.6	14.4	49.8	12.2	15.2	5.2	3.2

「食料品や生活用品を購入する店舗」が最も高く、次いで「飲食店」、「娯楽施設やスポーツ施設」の順となっている。年齢別にみると、年齢が若くなるほど「娯楽施設やスポーツ施設」や「理美容や自動車関係など暮らしに関する店舗」の割合が高く、年齢が高くなるほど「宿泊施設」の割合が高くなる傾向にある。

その他記述の内容（問 15）

記述内容を分類ごとに集計

n=279

記述内容の分類	件数
利用しない、応援ショップ事業は不要、別の施策が必要	82
ガソリンスタンド	22
温泉施設	12
コンビニ、スーパー、普段利用する店	11
上記以外の意見	152

その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

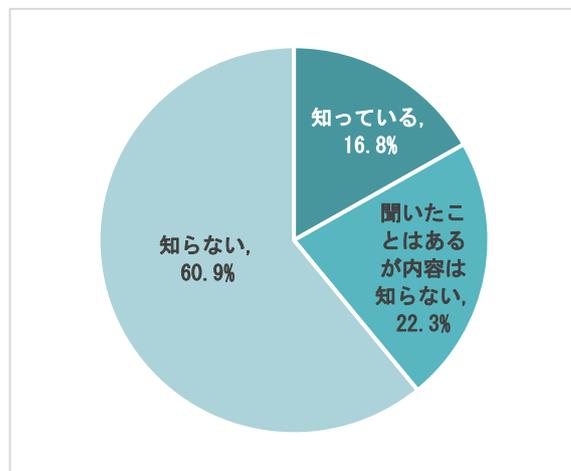
・ 子供と一緒に利用できる施設。
・ スポーツ観戦。
・ 災害用に関する食品と道具。
・ 市町村関係の施設。
・ 道の駅。
・ アウトドア用品を購入する店舗。

問 16 県で行っている「消防団協力事業所に関する優遇措置（事業税の減税等）」を知っていますか。
 （選択は1つ）

※ 消防団協力事業所に関する優遇措置とは、長野県で行っている、市町村が認定した消防団協力事業所について、消防団員数などの要件を満たした場合に事業税の減免や、入札参加資格の優遇措置のことです。

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
知っている	1, 027	16. 8
聞いたことはあるが内容は知らない	1, 366	22. 3
知らない	3, 730	60. 9



クロス集計表

(%)

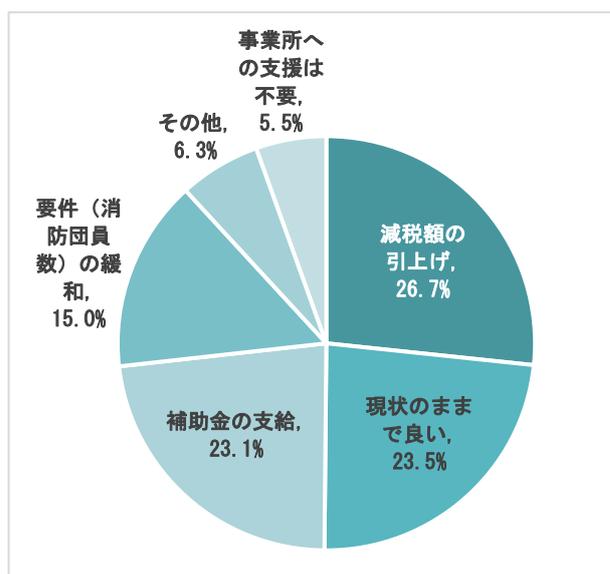
		知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
全体		16. 8	22. 3	60. 9
年齢	10代～29歳	7. 0	13. 7	79. 2
	30～39歳	11. 4	20. 8	67. 8
	40～49歳	20. 4	24. 7	55. 0
	50歳以上	33. 4	28. 3	38. 3
性別	男性	16. 9	22. 4	60. 7
	女性	14. 3	21. 9	63. 8
	無回答	8. 7	15. 2	76. 1
加入期間	5年未満	6. 3	17. 0	76. 7
	5年以上10年未満	10. 7	16. 6	72. 7
	10年以上15年未満	16. 6	22. 6	60. 8
	15年以上20年未満	22. 6	27. 4	50. 0
	20年以上	30. 0	29. 8	40. 3

年齢別にみると、年齢が若くなるほど「知らない」の割合が高く、特に10代～29歳では約8割を占めている。一方、年齢が高くなるほど「聞いたことはあるが内容は知らない」、「知っている」の割合が高くなっている。

問 16-2 「① 知っている」と回答した方にお尋ねします。消防団員の従業員がいる事業所への支援について、どのような支援があるとよいと思いますか。(選択は1つ)

n=1,027

	回答数	割合 (%)
減税額の引上げ	274	26.7
現状のままでよい	241	23.5
補助金の支給	237	23.1
要件(消防団員数)の緩和	154	15.0
その他	65	6.3
事業所への支援は不要	56	5.5



クロス集計表

(%)

		現状のままでよい	減税額の引上げ	要件(消防団員数)の緩和	補助金の支給	事業所への支援は不要	その他
全体		23.5	26.7	15.0	23.1	5.5	6.3
年齢	10代~29歳	44.0	22.0	6.0	24.0	2.0	2.0
	30~39歳	24.3	24.6	13.8	25.7	5.6	6.0
	40~49歳	20.7	28.1	16.2	22.4	5.7	6.8
	50歳以上	23.9	27.0	15.8	21.2	5.4	6.8
性別	男性	23.4	27.1	15.2	22.7	5.5	6.1
	女性	30.0	16.7	10.0	33.3	3.3	6.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
加入期間	5年未満	34.8	27.5	8.7	13.0	5.8	10.1
	5年以上10年未満	28.2	21.5	17.4	24.2	3.4	5.4
	10年以上15年未満	21.0	25.5	16.5	26.3	4.5	6.2
	15年以上20年未満	22.5	27.3	14.6	22.5	7.1	5.9
	20年以上	21.4	29.4	14.4	22.7	5.8	6.4

年齢別にみると、10代~29歳では「現状のままでよい」、30~39歳では「補助金の支給」、40歳以上では「減税額の引き上げ」が最も高く、年齢ごとに意見が分かれています。

性別、加入期間別でも意見が分かれる結果となった。

その他記述の内容（問 16-2）

記述内容を分類ごとに集計

n=65

記述内容の分類	件数
事業所ではなく団員個人に対する支援、減税	18
認定要件の見直しが必要	14
個人事業主に対する支援、減税	4
上記以外の意見	29

その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

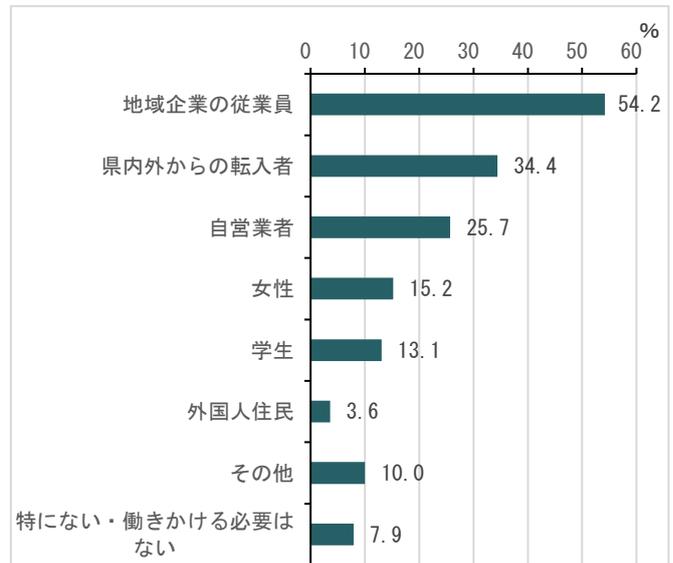
・ 出動した団員の休暇の取扱の見直し(通常の有給扱にしないなど)。
・ 活動時の欠勤や早退の免除等、団員自身への支援をしていただきたい。
・ 在籍団員数だけでなく、活動実績も含めて判断してほしい。
・ 職場に消防団は1人しかいません。1人でも要件の対象にしてください。
・ 個人事業主に対する優遇措置。
・ 県や市の事業への参加優遇措置の拡充。
・ 実際に火事場に飛び出せる雰囲気と体勢づくり。
・ 事業所に支援があっても、結局有給で出動。変わらない。

4 所属している消防団について

問17 あなたの所属する消防団において、団員確保のために、働きかけたほうがよいと思う対象者はどのような方ですか。(特に当てはまるものを2つまで)

n=6,123

	回答数	割合 (%)
地域企業の従業員	3,316	54.2
県内外からの転入者	2,107	34.4
自営業者	1,574	25.7
女性	932	15.2
学生	800	13.1
外国人住民	221	3.6
その他	612	10.0
特にない・働きかける必要はない	485	7.9



クロス集計表

(%)

		自営業者	地域企業の従業員	学生	女性	者 県内外からの転入	外国人住民	その他	ける特にない・働きか
全体		25.7	54.2	13.1	15.2	34.4	3.6	10.0	7.9
年齢	10代～29歳	24.1	55.5	18.4	11.2	26.6	2.4	3.6	12.9
	30～39歳	27.5	55.8	11.4	11.3	34.7	3.3	9.7	9.3
	40～49歳	25.4	52.8	12.7	17.9	36.5	3.9	11.8	6.1
	50歳以上	22.3	51.7	14.4	23.6	34.1	5.0	11.4	4.4
性別	男性	26.1	54.2	12.8	15.0	35.0	3.5	10.1	7.8
	女性	17.1	55.7	21.0	21.4	21.9	6.2	3.8	9.5
	無回答	19.6	37.0	10.9	19.6	21.7	0.0	21.7	19.6
加入期間	5年未満	24.1	51.7	14.9	13.6	28.7	4.1	5.8	12.7
	5年以上10年未満	28.0	56.5	11.2	12.9	34.5	3.1	8.2	8.9
	10年以上15年未満	28.4	55.1	12.5	13.1	35.0	3.3	11.0	8.1
	15年以上20年未満	23.7	54.2	12.1	17.9	36.5	3.2	13.1	5.4
	20年以上	22.6	52.2	15.4	20.1	37.3	4.7	12.1	4.1

年齢別、性別、加入期間別全てにおいて、団員確保のために、働きかけたほうがよいと思う対象者については、「地域企業の従業員」が最も高く、次いで「県内外からの転入者」となっている。

その他記述の内容（問 17）

記述内容を分類ごとに集計

n=612

記述内容の分類	件数
公務員（県や市の職員を含む）	157
若者	68
地域住民	56
選択肢内の全ての対象者、対象者は絞らず誰でも	47
そもそも勧誘する人がいない	46
上記以外の意見	238

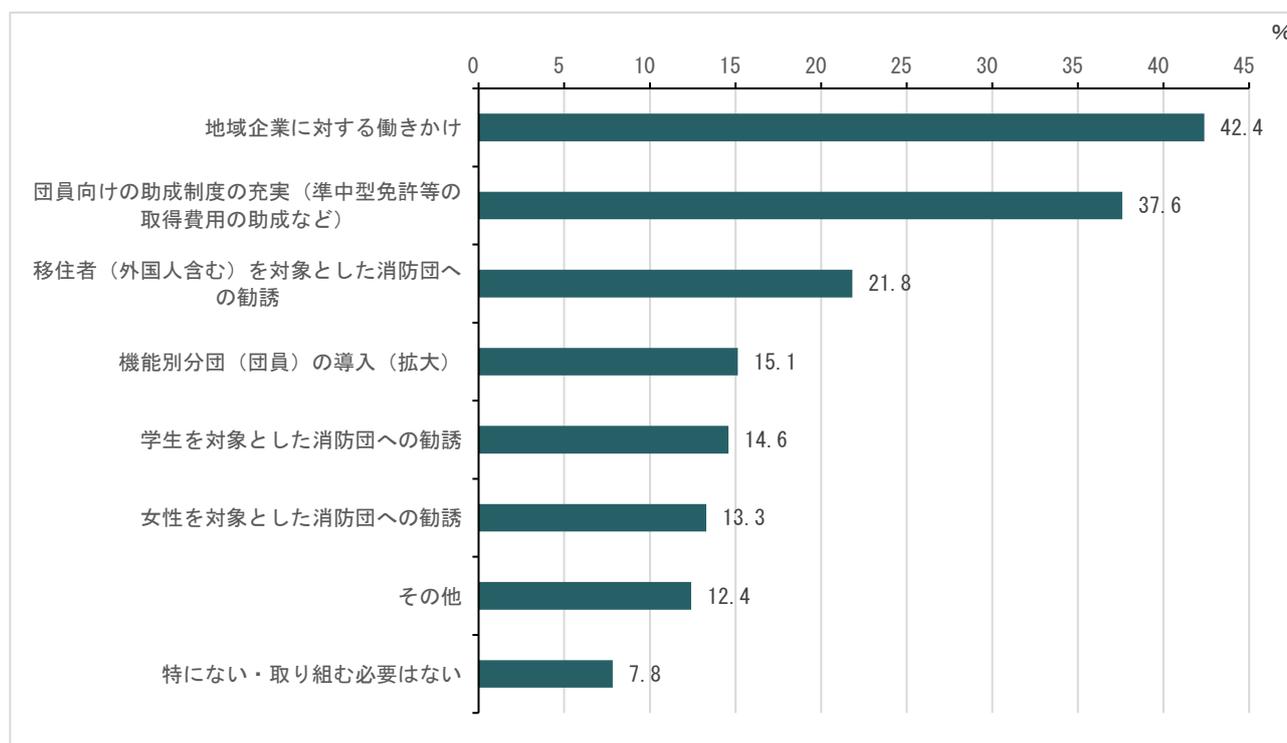
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 若い人材。教育段階からしっかり消防団活動の重要性を教えること。
・ 地域に住んでいる 20 代の若い住民。
・ 年齢・性別問わず地域に住むすべての住民。
・ 性別や職業に囚われずより多くの人に働きかける。
・ 働きかける対象者が少ない・いない。
・ 地域の高齢化のため人はいても団員をできる人が居なくなっている。
・ そもそも過疎・高齢化のため人がいない。
・ 働きかける相手がいない。
・ 退職者で体力的に健全な方。日常的に時間ある方。
・ 消火活動は定年した方など地域にいる動ける人。
・ 地元の学校に通学する児童・生徒の親。
・ 子育て世帯の保護者。
・ 自治体からの消防団への推薦等の協力があれば地域防災力向上する。
・ 地域の自治組織。
・ 勧誘対象者の家族。
・ ボランティア団体。
・ 土木現場関連の方だと、災害時の対応能力がよい。
・ 幽霊部員を切るのではなくて出てきてもらえるような働きかけ。
・ 消防団が地域に必要なと思われる組織になることが先決。
・ まずは消防団のイメージや雰囲気を変えることが大切。
・ 平日昼間部：地域企業従業員、休日夜間部：地域住民 を作る。

問 18 あなたの所属する消防団において、団員確保のために、(今まで以上に) 取り組むべきと思うものは何ですか。(特に当てはまるものを2つまで)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
地域企業に対する働きかけ	2, 595	42. 4
団員向けの助成制度の充実 (準中型免許等の取得費用の助成など)	2, 302	37. 6
移住者 (外国人含む) を対象とした消防団への勧誘	1, 337	21. 8
機能別分団 (団員) の導入 (拡大)	927	15. 1
学生を対象とした消防団への勧誘	894	14. 6
女性を対象とした消防団への勧誘	814	13. 3
その他	760	12. 4
特にない・取り組む必要はない	479	7. 8



クロス集計表

(%)

		地域企業に対する働きかけ	学生を対象とした消防団への勧誘	女性を対象とした消防団への勧誘	移住者（外国人含む）を対象とした消防団への勧誘	団員向けの助成制度の充実（準中型免許等の取得費用の助成など）	機能別分団（団員）の導入（拡大）	その他	特にはない・取り組む必要はない
全体		42.4	14.6	13.3	21.8	37.6	15.1	12.4	7.8
年齢	10代～29歳	43.8	21.9	10.1	16.4	37.6	8.8	5.9	12.6
	30～39歳	44.0	13.5	9.9	21.7	38.1	13.5	13.6	9.1
	40～49歳	41.1	14.0	15.5	22.6	38.4	17.8	13.4	5.8
	50歳以上	39.8	13.1	20.9	25.4	32.9	18.2	11.4	5.4
性別	男性	42.4	14.3	13.1	22.2	37.9	15.2	12.6	7.8
	女性	45.7	24.3	21.0	13.8	31.0	11.9	5.2	7.6
	無回答	26.1	6.5	6.5	8.7	28.3	19.6	23.9	15.2
加入期間	5年未満	42.2	17.5	12.6	20.1	35.6	10.9	7.6	11.6
	5年以上10年未満	42.8	13.4	11.4	21.8	37.1	13.1	12.9	9.4
	10年以上15年未満	43.6	13.0	12.0	21.0	38.9	16.6	14.1	7.2
	15年以上20年未満	43.1	14.4	13.8	22.3	37.8	17.2	15.2	5.7
	20年以上	39.4	15.7	17.7	24.4	38.3	18.1	11.4	4.8

団員確保のために、（今まで以上に）取り組むべきと思うものについては、「地域企業に対する働きかけ」が最も高く、次いで「団員向けの助成制度の充実（準中型免許等の取得費用の助成など）」、「移住者（外国人含む）を対象とした消防団への勧誘」の順となっている。

年齢別にみると、10代～29歳では「学生を対象とした消防団への勧誘」が他の年齢よりも高くなっている。

性別にみると、男性では「団員向けの助成制度の充実（準中型免許等の取得費用の助成など）」、「移住者（外国人含む）を対象とした消防団への勧誘」が女性よりも高く、女性では「学生を対象とした消防団への勧誘」、「女性を対象とした消防団への勧誘」が男性よりも高くなっている。

加入期間別にみると、加入期間が長くなるほど「移住者（外国人含む）を対象とした消防団への勧誘」、「機能別分団（団員）の導入（拡大）」の割合が高くなる傾向にある。

その他記述の内容（問 18）

記述内容を分類ごとに集計

n=760

記述内容の分類	件数
操法大会や行事等を含めた消防団活動の見直しや縮小・廃止	143
地域住民の理解や協力、地域への働きかけ、自治会や町内会への協力要請や勧誘	80
様々な手段での広報活動、消防団活動の周知、消防団のイメージの改善	63
消防団員の負担軽減	57
団の組織再編、組織改革、今後のあり方の検討	30
上記以外の意見	387

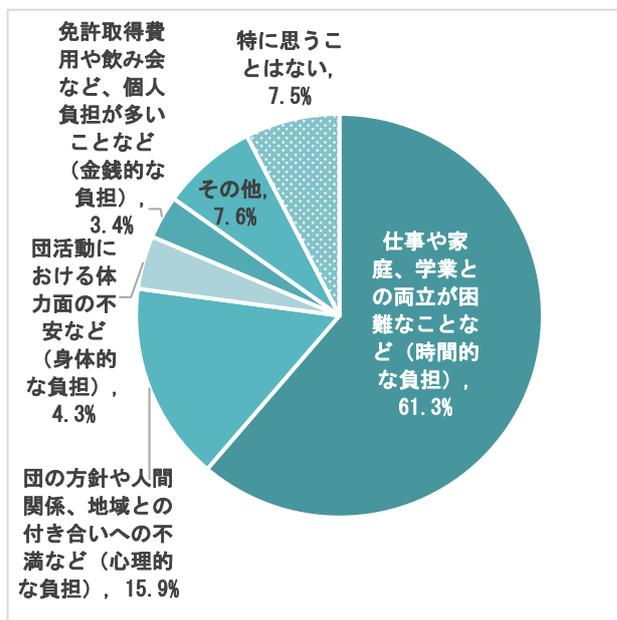
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 慣例等、実務に反映される効果が少ないと見込む行事を減らす。
・ 夜警や操法がなくなるか縮小されれば、気軽に入れると思う。
・ 効果が不明な行事の削減(出初式のオンライン化での負担減など)。
・ 平日の早朝等の訓練の禁止。
・ 地域全体で協力する体制、仕組み。
・ 所属地域における住民との交流(子供に筒先を持ってもらう)。
・ 地域住民の「住民名簿」を作り、勧誘と防災に役立てる。
・ 必要である理由を広報する必要がある。
・ 学校教育等での消防団活動の紹介や勧誘。
・ ホームページや SNS を通じた広報活動と体験会の実施。
・ 年間活動内容、存在理由と団員のメリット、優待の周知。
・ 勧誘をするよりも、消防団が無かったらどうなるかを周知させる。
・ 新聞、テレビ等による広報活動。
・ 地域にとって必要不可欠であることをもっと伝えるべき。
・ 消防団としての在り方を、今の時代に合わせて考える。
・ 分団の統廃合など抜本的な人員数の見直し。
・ 地域住民の勧誘を消防団員に任せないで地域と一体で考えるべき。
・ 区や市が積極的に関わって勧誘してほしい。
・ 団員として継続して所属してくれる環境づくり。
・ 地元の若者が入りやすい条件や環境づくり。
・ 現行イメージの払拭。時間を削られるイメージが強い。
・ 仕事の内容を具体的に視覚化することで入団のハードルを下げる。
・ 消防団のイメージアップを図る活動。
・ 期限付きの活動。
・ 消防団に入団するメリットの強化(区の役免除など)。
・ その他の負担(子供の学校や地区の役員など)の免除規定。
・ 機械の資格取得費用(全額)。

問 19 あなたの所属する消防団において、団員が消防団活動の継続が困難と思う時は、どのようなことが理由と考えられますか。最も当てはまるものを選択してください。（選択は1つ）

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
仕事や家庭、学業との両立が困難なことなど(時間的な負担)	3,751	61.3
団の方針や人間関係、地域との付き合いへの不満など(心理的な負担)	972	15.9
団活動における体力面の不安など(身体的な負担)	261	4.3
免許取得費用や飲み会など、個人負担が多いことなど(金銭的な負担)	211	3.4
その他	468	7.6
特に思うことはない	460	7.5



クロス集計表

(%)

		特に思うことはない	仕事や家庭、学業との両立が困難なことなど(時間的な負担)	団活動における体力面の不安など(身体的な負担)	免許取得費用や飲み会など、個人負担が多いことなど(金銭的な負担)	その他
全体		7.5	61.3	4.3	3.4	7.6
年齢	10代~29歳	11.6	54.6	5.2	4.8	3.5
	30~39歳	6.0	65.3	2.7	2.9	7.2
	40~49歳	6.6	60.1	5.0	3.2	9.2
	50歳以上	11.7	58.6	6.2	4.8	7.8
性別	男性	7.4	61.3	4.1	3.5	7.8
	女性	9.5	62.9	6.7	2.9	1.9
	無回答	6.5	43.5	10.9	4.3	15.2
加入期間	5年未満	11.2	59.0	4.9	3.7	5.0
	5年以上10年未満	6.4	62.6	3.9	3.1	6.3
	10年以上15年未満	6.1	62.1	3.0	3.9	8.7
	15年以上20年未満	6.2	61.3	4.4	3.7	9.3
	20年以上	8.6	60.7	5.7	2.7	9.0

「仕事や家庭、学業との両立が困難なことなど(時間的な負担)」が年齢別、性別、加入期間別の全てにおいて最も高く、次いで「団の方針や人間関係、地域との付き合いへの不満など(心理的な負担)」などとなっている。

その他記述の内容（問 19）

記述内容を分類ごとに集計

n=468

記述内容の分類	件数
団員の不足や高齢化、人口減少、新入団員の確保	144
訓練・大会・操法等への参加や練習	113
拘束時間が長いこと、休日の活動、家庭への影響	28
やる気がない、意識の低下	21
消防団活動に対する周囲への理解が得られないこと	14
上記以外の意見	148

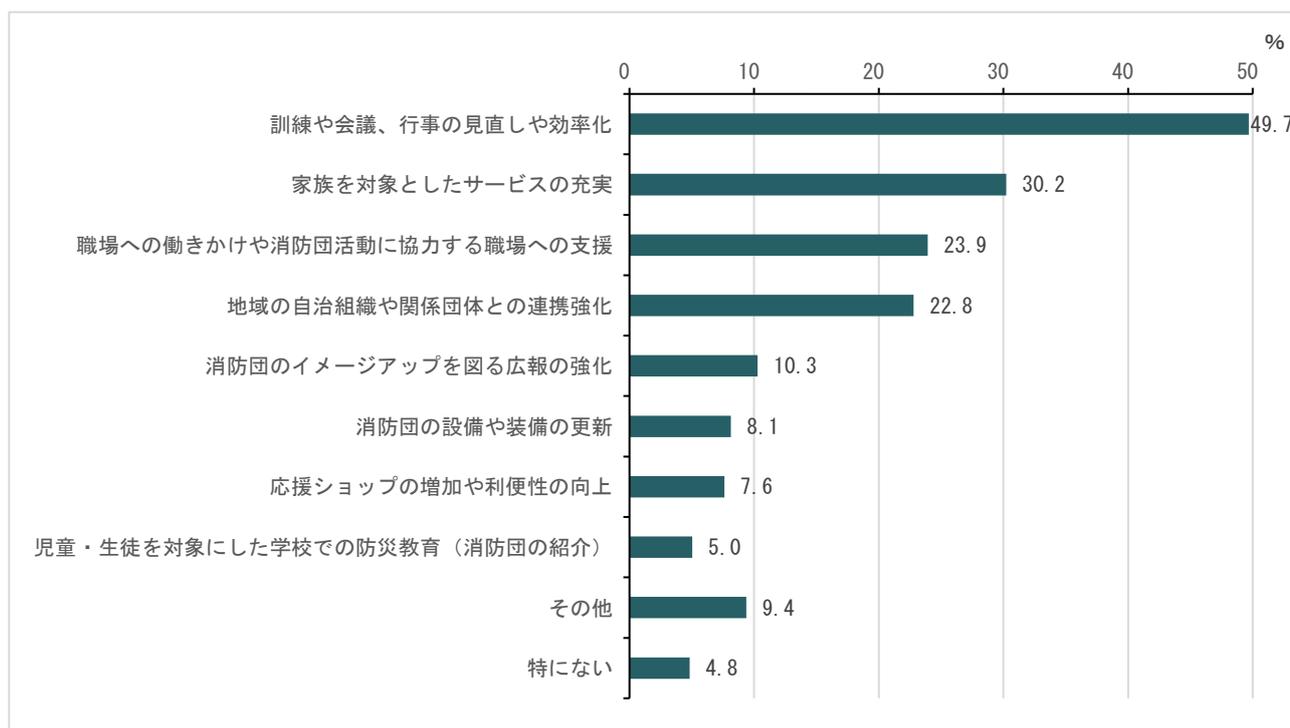
その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 活動の意義を見出せない。
・ 出勤の制限があり地域への貢献意識が低下。
・ 必要性を感じるできないこと。
・ やりたくないことをやらされる。
・ 本部からの扱いによる気持ちの低下。団員は本部の部下ではない。
・ 地域の無関心。
・ 職場での理解。
・ 企業の消防団員に対する理解。
・ 人間関係と飲み会の個人負担が多すぎる。
・ 活動費が足りないから年一万円徴収される。
・ 報酬が少ない。
・ 活動報酬が個人支給になったが、部の飲み会のために搾取されること。
・ 今の時代に全く合っていない仕組み。
・ 消防団の意味。活動服があるのに法被などを強制させ古い考え。
・ 現代の消防のあり方を今一度考えてほしい。ラップを無線へなど。
・ 従事年数が長過ぎること。
・ いつやめられるかわからないボランティアに勧誘できない。
・ 在籍期間が長すぎる。地域なら1年で終わるが。
・ 入団後に町外へ移住してしまい自己負担で活動に参加している。
・ 転勤等により参加が困難になってしまう。
・ 引越しにより物理的な距離ができる時。
・ 上記すべて。
・ 活動全てにおいての負担。
・ 全てにおいて無駄が多い。

問 20 あなたの所属する消防団において、消防団活動を充実させるためには、(今まで以上に) どのような取組や改善が必要と思いますか。(特に当てはまるものを2つまで)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
訓練や会議、行事の見直しや効率化	3, 043	49. 7
家族を対象としたサービスの充実	1, 850	30. 2
職場への働きかけや消防団活動に協力する職場への支援	1, 465	23. 9
地域の自治組織や関係団体との連携強化	1, 396	22. 8
消防団のイメージアップを図る広報の強化	629	10. 3
消防団の設備や装備の更新	498	8. 1
応援ショップの増加や利便性の向上	466	7. 6
児童・生徒を対象にした学校での防災教育 (消防団の紹介)	309	5. 0
その他	573	9. 4
特にない	295	4. 8



クロス集計表

(%)

		地域の自治組織や関係団体との連携強化	職場への働きかけや消防団活動に協力する職場への支援	家族を対象としたサービスの充実	応援ショップの増加や利便性の向上	児童・生徒を対象にした学校での防災教育（消防団の紹介）	訓練や会議、行事の見直しや効率化	消防団の設備や装備の更新	消防団のイメージアップを図る広報の強化	その他	特にない
全体		22.8	23.9	30.2	7.6	5.0	49.7	8.1	10.3	9.4	4.8
年齢	10代～29歳	20.2	25.4	26.1	11.8	5.2	41.4	9.4	11.8	4.9	8.8
	30～39歳	19.5	21.8	32.8	8.0	3.4	52.9	7.7	9.2	11.1	4.7
	40～49歳	24.0	25.6	30.9	6.5	5.5	50.9	7.4	10.0	9.7	3.8
	50歳以上	33.2	24.1	22.9	5.7	9.2	42.7	10.8	13.4	6.8	4.5
性別	男性	22.8	24.0	30.8	7.5	4.5	50.2	8.1	10.1	9.6	4.7
	女性	23.3	21.0	17.1	11.4	19.0	35.7	7.6	16.7	2.4	7.6
	無回答	21.7	23.9	13.0	4.3	6.5	54.3	8.7	6.5	15.2	8.7
加入期間	5年未満	21.4	23.4	26.3	10.7	6.7	43.3	8.4	9.4	7.3	8.0
	5年以上10年未満	19.7	22.0	28.5	7.4	3.6	53.9	7.8	10.8	9.9	5.5
	10年以上15年未満	22.4	22.4	32.9	7.9	3.2	52.2	8.5	8.8	10.7	4.2
	15年以上20年未満	24.6	25.6	31.3	5.5	5.7	51.1	8.0	11.4	9.7	3.0
	20年以上	27.2	27.5	31.7	6.4	7.0	45.7	7.9	11.3	8.6	3.3

「訓練や会議、行事の見直しや効率化」が年齢別、性別、加入期間別全てにおいて、最も高くなっている。年齢別では10代～49歳まで、性別では男性、加入期間では全ての区分において、「家族を対象としたサービスの充実」が次いで高い結果となっている。

その他記述の内容（問 20）

記述内容を分類ごとに集計

n=573

記述内容の分類	件数
行事・大会・操法等の見直しや廃止・縮小、団員の負担軽減	150
組織（意識）改革、任期（定年）の導入	46
行政や企業の協力（団員の確保）、地域の理解	43
消防団活動の縮小・見直し、組織再編	36
実践的な訓練、資格取得	30
上記以外の意見	268

その他記述の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）

・ 会議や行事の多さは見直す必要あり。
・ 有事の際に必要なでないラッパの練習。
・ 形骸化し、負担のみが目立つ操法大会の廃止し、技術講習を行う。
・ 地元にはいない団員が多いので、企業として消防団活動を行う。
・ 自治体などによる地域住民に対する直接的な入団への働きかけ。
・ 操法大会以外の訓練の充足。
・ 水難救助等地域に即した訓練をする。
・ 車両を AT 車に変えてほしい。
・ 消防団員にしかできない技術の取得や救急法や医療知識の取得。
・ 実現場を想定した必要な訓練。
・ 装備についてはヘルメットなど 20 年以上使用しているが耐用年数。
・ 少ない人数でも活動が可能な設備、訓練に見直してほしい。
・ 消防団本来の消火活動、水害出動時の経験を積ませること。
・ 規律訓練の簡略化をし、ポンプ車操作の実務的訓練時間を増やす。
・ 不適切な会計処理、透明化。広く社会的へ公開せよ。
・ 今までを含め団の会計、帳簿を団員に公開するべき。
・ 提出書類、会計の負担軽減。
・ 勧誘を現役の団員に任せない。
・ 消防団員の地域役員、PTA 役員等の免除。
・ 団員個人のメリットを増やす。
・ 消防団員は地域や PTA など他の役職を免除してほしい。
・ 消防をやることによって何かしらのメリット。
・ 女性隊以外の活動を知らない。住民に知ってもらう広報。
・ 消防団員の活動内容資料の充実。各区長へ発信。
・ SNS の活用。

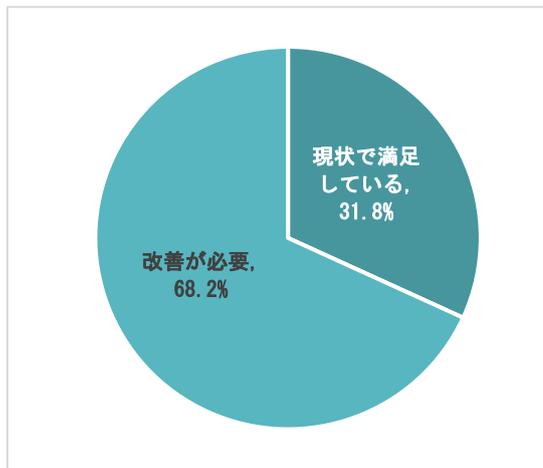
5 消防団での取組み等について

問 21 次の各項目について、現状で満足していますか。または改善が必要と考えますか。(選択は1つ)

1. 消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会 (大会に向けた訓練を含む)

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	1, 950	31. 8
改善が必要	4, 173	68. 2



クロス集計表 (%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		31. 8	68. 2
年齢	10代～29歳	48. 9	51. 1
	30～39歳	28. 5	71. 5
	40～49歳	28. 9	71. 1
	50歳以上	35. 9	64. 1
性別	男性	30. 7	69. 3
	女性	63. 8	36. 2
	無回答	30. 4	69. 6
加入期間	5年未満	45. 1	54. 9
	5年以上10年未満	30. 7	69. 3
	10年以上15年未満	25. 8	74. 2
	15年以上20年未満	29. 5	70. 5
	20年以上	30. 4	69. 6

年齢別、加入期間別では全て、性別で見ると男性では「改善が必要」の回答が高くなっている。

⇒ 1. 消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会（大会に向けた訓練を含む）で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。（回答は任意）

回答入力件数 3,289 件

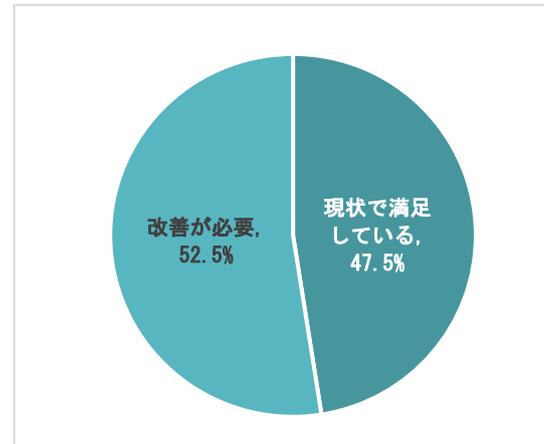
改善が必要な理由（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 大会の必要性がない。何のための大会なのか全くわからない。
・ 操法大会に向けた訓練は時間的、体力的、家庭面、仕事面で負担が大きい。
・ 団員数が減少している中で今まで通りには訓練できない。
・ 訓練場所が無くなりつつある。
・ 消防団にラッパは関係ないと思う。
・ 団員の確保が難しい要因となっている。

改善案（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 操法大会のための訓練ではなく、誰もが火事場で動ける様な実践を重視した訓練がしたい。
・ 操法訓練という形で、団員全員が確実な機械操作等に覚える機会をつくる。
・ 操法の技能を競うことは消防団の意識が高まるが、体力面で不安を感じる。発表会形式にして、操法技術を身に付けるように改善してもらいたい。
・ 大会という形ではなく一定期間毎に各分団又は各班で操作方法の確認、放水等の練習という形にしては。
・ 開閉会式の簡素化や、訓練の時間制限等、体力的に負担となることを極力減らすべき。
・ ポンプ操法&ラッパ吹奏大会自体の廃止や数年に1回の開催に。
・ 通信の仕方、山林火災時の山歩きの練習など実践的な動きや安全性を高める動作を学びたいので大会ではなく講習会のような形にしてほしい。
・ ラッパについて、現状に即した訓練（火事でラッパを使用しないため、防災行政無線等を活用した情報伝達など）に変更する必要があると感じる。
・ ラッパ吹奏に関しては、技術の習得に時間がかかるため、大会の曲数を短縮するなど、練習量の軽減に繋がる改善を希望。
・ 操法大会等よりも防災訓練等。住民の防災意識向上に繋がる活動を強化するべき。
・ 実用性実益に直結するような技術競争。AEDやドローン利用など。
・ 動画等での技術指導や実践練習の機会を設ける。
・ 訓練の成果を小中学生に披露し、いいイメージを持ってもらう。

2. 団の行事や式典（出初式等）

n=6,123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	2,909	47.5
改善が必要	3,214	52.5



クロス集計表

(%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		47.5	52.5
年齢	10代～29歳	61.4	38.6
	30～39歳	42.8	57.2
	40～49歳	45.4	54.6
	50歳以上	56.8	43.2
性別	男性	46.8	53.2
	女性	71.4	28.6
	無回答	34.8	65.2
加入期間	5年未満	57.9	42.1
	5年以上10年未満	46.6	53.4
	10年以上15年未満	42.4	57.6
	15年以上20年未満	43.3	56.7
	20年以上	49.5	50.5

全体では、「改善が必要」が高くなっているが、年齢別にみると、10代～29歳、50歳以上では「現状で満足している」の割合が高く、年齢層によって意見の違いが見られる。性別にみると、女性では「現状で満足している」が7割以上占めている。加入期間別にみると、5年未満では「現状で満足している」の割合が高く、5年以上では「改善が必要」の割合が高くなっている。

⇒2. 団の行事や式典（出初式等）で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。（回答は任意）

回答入力件数 3,289 件

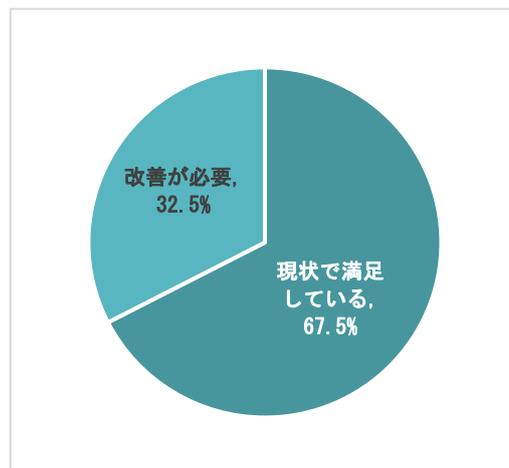
改善が必要な理由（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 拘束時間、待機時間が長すぎる。
・ 寒い時期の出初式は、身体的な負担が大きい。
・ 消防団の行事が多く家族と過ごす時間が少ない。
・ 有事以外で休日まで消防で潰してしまうのは今の時代に合っていない。

改善案（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 極寒の中、出初式を行うのは参加者全員の負担が大きい。簡素化または、形を変えた開催方法の議論を進めるべきです。
・ 短時間で消防団の活動を住民の方に向かってアピールできる(出初式の一斉送水やパレードなどの)式典作りが必要。
・ 短縮し簡素化すること、又はオンライン参加も可能にすること。
・ 全体的に待機時間が長すぎる。集合時間を遅くしたり来賓の方の挨拶の数を減らすべき。
・ 出初式中に2〜3時間立ったままは辛いので、イスに座りたい。祝辞を減らす等の時間の短縮。
・ 表彰者は式典より新聞などメディア媒体で地域に知ってもらおうほうが、家族や周囲への配慮となると思う。
・ 出初式は真冬の開催で参加者の負担が大きい、開催時期の見直しが必要です。
・ 出初式の市中パレードは規模縮小し、一般市民が消防活動に触れるイベントを開催して、市民のアピールをしているが、市民の皆さんが多く訪れ楽しんで頂いているのを感じている。
・ 出初式も人数をかなり減らして規模を小さくして執り行われているのはありがたい。
・ 行事や式典等を同日に複数行うなど極力日数を減らすべきと考える。
・ 平日に行われる行事や宿泊を伴う行事は、会社や家族に負担をかけるため、改善してほしい。
・ 消防団員である自覚のため行事は必要と思うが、拘束時間を少なくするプログラムに見直す。
・ 出初式については、新年の広報のみで活動報告のみ行い、式自体は廃止した方がよい。
・ 出初めや観閲式などをやめて、一年に一回、1日かけて可搬や自動車、応用ポンプや救護、大型排水ポンプの講習、実地訓練を行い閉会式の時に殉職団員への敬礼と表彰を行えばよいと思う。
・ 団員数が少ない町村は負担が大きいので、広域全体で合同で行ってはいかがでしょうか。
・ 家族の負担や仕事を早く切り上げるなど、日常生活に支障をきたすようなことのない程度の行事数にして頂きたい。
・ 年末警戒を自宅待機でやった方が家族との時間も増え現代にあっていると思う。
・ 消防団に加入していない一般市民も一緒になって参加して、勧誘活動も同時に行ったり、消防団の雰囲気を感じていただける場にしたい。

3. 設備や装備（詰所や資機材、活動服等）

n=6,123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	4,130	67.5
改善が必要	1,993	32.5



クロス集計表 (%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		67.5	32.5
年齢	10代～29歳	77.0	23.0
	30～39歳	69.0	31.0
	40～49歳	64.5	35.5
	50歳以上	62.3	37.7
性別	男性	67.4	32.6
	女性	70.0	30.0
	無回答	56.5	43.5
加入期間	5年未満	73.3	26.7
	5年以上10年未満	69.2	30.8
	10年以上15年未満	66.1	33.9
	15年以上20年未満	64.9	35.1
	20年以上	63.5	36.5

年齢別、性別、加入期間別全てにおいて、「現状で満足している」の割合が高くなっている。

⇒3. 設備や装備（詰所や資機材、活動服等）で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。（回答は任意）

回答入力件数 1,459 件

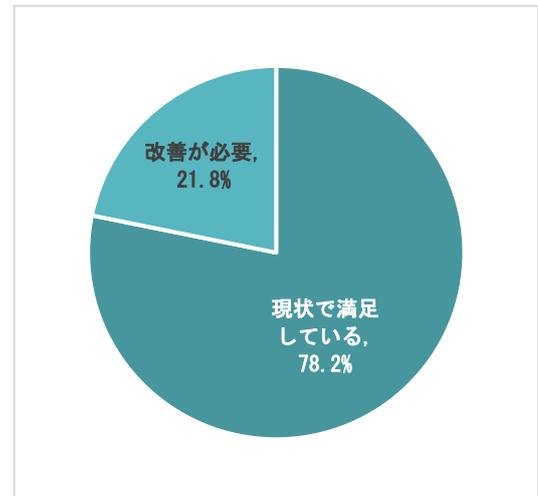
改善が必要な理由（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 詰所や設備の老朽化。
・ 活動服等の支給が少ない、法被は不要。
・ 女性が使いにくい設備（トイレや着替えるスペースがない）。
・ 現在の車両（マニュアル車）は運転できない団員がいる。

改善案（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ チェンソーなどガソリンを使用するものは劣化が早いので、バッテリータイプへの変更。
・ 発電設備（ソーラーパネル）やバッテリー、Wi-Fi 設備。
・ これからの団員のためトイレの洋式化はしてほしい。エアコンの導入も検討してほしい。
・ 火災の際、防火服の下半身への防護が少なく、昨年太もも内側を受傷した。ズボン型の防火服の導入を強く願う。
・ 防寒着の装備が弱い。また、式典にも着用できるような公式な防寒着を配置いただきたい。詰所の作りが女性に対応していないことや、空調が整備されていないことは改善が必要。
・ 夜間活動の安全性を高めるためのヘルメットに着用するライトと防寒具の支給。
・ 水防対策関係の装備が不足（カップや長靴）。
・ 団員の安全が確保できる最低限の装備は必須（ゴーグルや安全靴の標準支給など）。
・ 防火服は充実させた方がよい。有事の際に出動できる人員は一定数おり、その人たちの安全面は、確実に確保すべき。
・ 夏用の活動服がほしい。近年の気温上昇により体調を崩す団員が多数いたため。
・ 行方不明の捜索や山間部の火災などで長靴や運動靴では危険で疲れてしまう。登山やトレッキングみたいな靴などを紹介してほしい。
・ 活動服を1人2着は貸し出すべきである。濡れても汚れても、災害は続く可能性がある。
・ できるだけ経費を掛けないため、法被は不要であり、縮小してほしい。
・ 女性団員のみならず、トイレの改善は必須。着替えもできる多目的なもの。
・ マニュアル車をオートマ車に変更。
・ 準中型免許取得の費用を行政で出してほしい、免許が無い団員が増えていて先々ポンプ車を出動できなくなると思う。
・ 詰所の屋内でタバコ（加熱タバコ含む）はやめてほしい。
・ ポンプの点検などは、市町村で一括委託するなど、団員の負担軽減を検討してほしい。
・ 詰所に太陽光パネルを設置しては。 ①詰所は県内に沢山あり、通常昼間は不在。売電することで活動費の拡充ができるのではないかと。 ②蓄電もできれば災害時の無線確保、団員の通信手段の確保が可能。③県民の災害時の充電ステーションとしても活用可能。

4. 消防団と地域との付き合いや祭事等の協力

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	4, 788	78. 2
改善が必要	1, 335	21. 8



クロス集計表 (%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		78. 2	21. 8
年齢	10代～29歳	87. 8	12. 2
	30～39歳	77. 3	22. 7
	40～49歳	76. 7	23. 3
	50歳以上	76. 5	23. 5
性別	男性	78. 1	21. 9
	女性	82. 4	17. 6
	無回答	65. 2	34. 8
加入期間	5年未満	84. 5	15. 5
	5年以上10年未満	80. 1	19. 9
	10年以上15年未満	76. 3	23. 7
	15年以上20年未満	74. 5	25. 5
	20年以上	75. 6	24. 4

年齢別、性別、加入期間別の全てにおいて、「現状で満足している」の割合が高くなっている。

⇒4. 消防団と地域との付き合いや祭事等の協力で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。（回答は任意）

回答入力件数 827 件

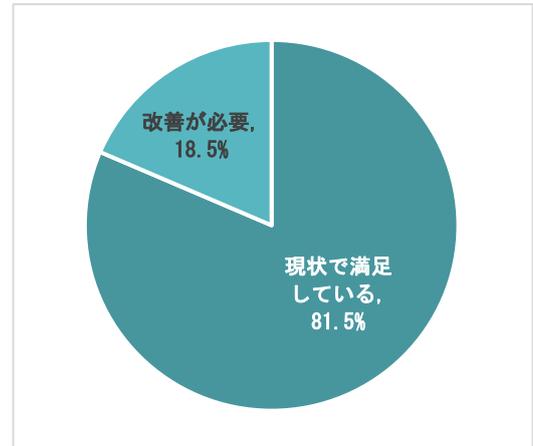
改善が必要な理由（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 参加する会議や祭りの頻度が多い。
・ 協力要請が多すぎて時間的・心理的負担が大きすぎる。
・ 地域の祭りの雑踏警備、交通整備に当たる必要性を感じられない。
・ 地域住民の認知度が低い。消防団活動が一部の住民にあまり認められていないと感じる。

改善案（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 消防団が出動しなくてもよいと思われる行事もある。一律化の案等作成してみてはどうか。
・ 祭事への協力については火災や救護といった消防団ならではの内容に絞り、活動に見合った手当が支払われていくべき。
・ 団員も地域住民の一人であり、祭事等を楽しんだり、その運営に消防団以外の役割を担う立場でもあることを考慮してほしい。
・ 自主防災会や自治会、消防団などそれぞれが縦割りで、災害時などの役割分担がわかりづらい。
・ 企業の協力をもっとあれば参加しやすい。
・ 地域と消防団の互いの要望を出し合う会議など、意思疎通の機会がなければ団員不足等も分かってもらえないので、そういうことにも行政が入ってほしい。
・ 消火栓の確認などを地域の方々と一緒に行う機会があってもよいと思う。
・ 火災以外の自然災害が増える中で、それについて地域の人と考える機会があってもよいと思う。
・ 小中学校などとも関わりがもてると子供たちや親等に活動を知ってもらえる。
・ 地域住民と協力し、実践的かつ参加しやすい訓練を増やすことで、防災意識の向上にもつながります。そのために必要な予算を確保し、よりよい形での地域交流を実現することを求める。
・ 重労働や作業等、困った時は消防団に頼めばよいという風潮がある。団員が減少して1人1人の負担がどんどん増えてきているので、必要に応じて外部委託するなど、団員の負担軽減を考える必要がある。
・ 地域と消防団の互いの要望を出し合う会議など、意思疎通の機会がなければ団員不足等も分かってもらえないので、そういうことにも行政が入ってほしい。

5. 分団や班における積立金や口座の管理

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	4, 989	81. 5
改善が必要	1, 134	18. 5



クロス集計表 (%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		81. 5	18. 5
年齢	10代～29歳	90. 2	9. 8
	30～39歳	81. 6	18. 4
	40～49歳	79. 3	20. 7
	50歳以上	79. 4	20. 6
性別	男性	81. 4	18. 6
	女性	90. 0	10. 0
	無回答	58. 7	41. 3
加入期間	5年未満	86. 2	13. 8
	5年以上10年未満	82. 6	17. 4
	10年以上15年未満	80. 1	19. 9
	15年以上20年未満	79. 0	21. 0
	20年以上	79. 6	20. 4

年齢別、性別、加入期間別の全てにおいて「現状で満足している」の割合が高くなっている。

⇒5. 分団や班における積立金や口座の管理で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。(回答は任意)

回答入力件数 720 件

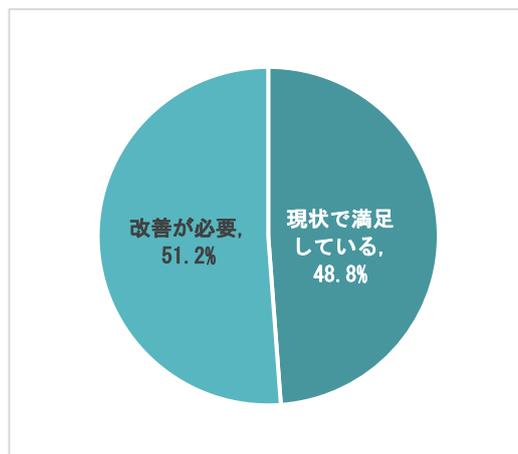
改善が必要な理由 (自由記入欄から抜粋 ※一部要約)
・分団の活動資金が不足している。
・個人に入る活動費が団に回収される。
・分団の会計は団員に報告もないのでお金の動きがわからない。
・会計管理の負担が大きい。

改善案 (自由記入欄から抜粋 ※一部要約)
・分団毎管理方式は様々だが、責任ある立場、分団長、副分団長、部長が監督することが必要。
・会計の内訳を年2回は地区に監査をしてもらいたい。
・団のお金の管理は1人じゃなく2人でやるのがいい。
・地区からの寄付金など、団本部へ支給されるものに対する開示がされず、不透明感が強い。
・分団の活動費の収支決算書の公開。使途不明であるため。
・お金の流れが何もわからないので全員がわかるように改善してほしい。
・会計簿の作り方、資金の適切な使い方などの講習会を開催し、意識改革してほしい。
・出納帳等は役所から指定されたもので管理した方が統一性もあり監査等もやりやすいと感じる。
・決まった形式の管理ソフトやアプリ等で管理できると書類作成や集まって何回も監査する必要性がないのではないかな。
・地元の銀行だけでなく、ネット銀行でも使えるようにしてほしい。
・やり方が複雑で面倒くさい。支出はともかく、各収入ごとに書類を書く必要があるのか疑問。

6. 消防団の広報活動や団員の勧誘活動

n=6, 123

	回答数	割合 (%)
現状で満足している	2, 989	48. 8
改善が必要	3, 134	51. 2



クロス集計表

(%)

		現状で満足している	改善が必要
全体		48. 8	51. 2
年齢	10代～29歳	69. 4	30. 6
	30～39歳	47. 9	52. 1
	40～49歳	44. 0	56. 0
	50歳以上	47. 2	52. 8
性別	男性	48. 4	51. 6
	女性	61. 9	38. 1
	無回答	37. 0	63. 0
加入期間	5年未満	64. 3	35. 7
	5年以上10年未満	51. 9	48. 1
	10年以上15年未満	43. 0	57. 0
	15年以上20年未満	41. 1	58. 9
	20年以上	44. 9	55. 1

年齢別にみると、30歳以上では「改善が必要」の割合が5割以上を超えている。性別にみると男性が、加入期間別にみると10年以上では「改善が必要」の割合が高くなっている。

⇒6. 消防団の広報活動や団員の勧誘活動で「改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。(回答は任意)

回答入力件数 2,139 件

改善が必要な理由 (自由記入欄から抜粋 ※一部要約)
・ 誰がどこに住んでいるかわからないから、若い人を勧誘したくても勧誘ができない。
・ 分団単位の勧誘に限界を感じている。団員のみ勧誘の負担がかかっている。
・ 団員勧誘のいい案、実例があれば情報を共有していただきたい。
・ 消防団のイメージがあまりよくないように感じる。

改善案 (自由記入欄から抜粋 ※一部要約)
・ 負担に感じることを減らしていき、純粋な地域貢献活動のイメージを強め、それを広めていく。
・ 消防団が独自で勧誘活動を行うより各市町村から若者等に呼びかけを行ってほしい。
・ テレビやネットなどのメディアを通じたイメージアップの取り組みを、子供向けだけでなく中高年向けにもっと積極的に行ってほしい。
・ SNS を使った消防団活動のアピールの場がほしい。
・ そもそも「なぜ消防団が必要なのか？」ということの理解が市民に得られていない感じがする。
・ 地元企業などに一斉に声かけできる場を設ければ、消防団への理解や参加が促進されると思う。
・ 災害時に地域の役に立てる、地域や家族を守るために必要な存在であることを、全国の実例を紹介しつつ、もっとアピールした方が刺さりやすいと思います。
・ 小中学生へのアピールが必要と考える。
・ 地域の広報誌にて分団や班の紹介記事を組んでみてはどうか。
・ 長野県や13地区消防協会でイベントでの広報活動や団員勧誘に関する予算化をしてほしい。もっと地元ケーブルテレビを使って、火の用心や団員募集の放送を行ってほしい。
・ ブラック企業のようなイメージが先行しているので、「こんなことしているんです。」のようなチラシや、Web ページ、YouTube 動画などがあったらどうでしょうか。
・ 分団での勧誘だけでなく、団として計画的に広報や勧誘を行う必要がある。先進的な取り組みの共有や、外部からのアドバイザー派遣などできないか。
・ 団員勧誘が成功している事例があれば周知する必要があるし、無理な勧誘にならないような取り組み(学習会)も必要ではないか。
・ 具体的な勧誘方法をマニュアル化し消防団の活動内容やメリット、デメリットが見える化した上で、広報活動をすべきと思います。
・ 女性を対象とした広報が必要。例えば災害時の避難所対応などの消防団の活動をアピール。
・ YouTube やサイト動画など活用しているが健全過ぎる。現状を曝け出した上で改善方法や団員確保などを模索したり意見を求めてみては。例えば消防団の嫌いな所とか、直してほしい所を団員外から率直に伺って改善点や改善方法を動画にアップしていく。
・ 消防団の活動など分かるようにパンフレット等を作る。
・ 体験入団など実施してもいいかもしれません。

問 22 消防団員の確保や消防団活動の充実に向けて、県や市町村に取り組んでほしいことがあれば、ご記入ください。

回答入力件数 2,589 件

主な意見の内容（自由記入欄から抜粋 ※一部要約）
・ 消防団員の特典として、子育てパスポートと同様の特典をお願いします。
・ 消防団の報酬を上げて、副業みたいに稼げるようにすれば若い人も入ると思う。
・ 報酬ももっと引き上げて、活動してる人たちにもっとメリットが必要。
・ 会社の理解や、報酬の増額をしてもらいたい。
・ 消防団の魅力発信と、報酬面の拡充が主だと思います。設備に関しては色々言えばキリがありません。
・ 消防団に入ることのメリットを家族、職場、本人が享受しなければ人は増えないと思う。 住民税の減額や活動費の増加、各種福利厚生などを厚くしていけば入りたいと思える人も増えると思う。
・ 県や市町村としてはやりにくいとは思いますが、団員報酬以外に住民税減税とかできれば勧誘時に強みになります。
・ まじめに活動している団員に対して、地域や PTA 等の他の役職の免除、住民税の減免などの分かりやすいメリットを作ってもらいたい。
・ 消防団活動において、特に負担を感じる操法大会について、県協会を含め各協会、市町村単位で要検討を進める必要があると思われる。
・ 未だに地域の古い考えや行事等により負担が多い部分もありますので、今後も団員の声を聞いて、消防団の在り方の検討を続けていただきたいです。
・ 県操法大会の中止、見直しについて検討していただきたい。
・ 出初式やポンプ操法などの代わりに全体のレベルアップにつながる訓練を行ってほしい。 年間のスケジュールが昔の農家に合わせたものそのままなので現在の働き方に合わせるべき。
・ 面白いイベントで盛り上げてほしい。操法を見てカッコイイなど思ってもらえれば団にもプラスになる。お祭りの花形としての操法なら若者の注目の的となれるのではないかな？
・ 消防団を身近に感じてもらえるように子供の頃から参加できる、楽しく学べる防火防災訓練。 消防に興味がない人も参加しやすいイベント。
・ 体力ある人、事務が得意な人様々。出勤メインチーム、事務メインチーム等、各自の得意分野に合わせてチームを選択できるようにすべき。不得意なこと、無理なことを求めるのはストレス。
・ 仕事やプライベートに支障が出たり負担がかかってしまうのはよくない傾向。朝の練習は週に 3 回とか 2 回までにするなどルールを作り上(県)から下ろしてほしい。
・ 地域の為に活動したい人はいます。操法大会があることで、一步踏み出せない人は多くいると思います。
・ 操法シーズンの練習期間が子育て世代の団員の大きな負担となっています。操法大会という訓練形式から脱却して団員の負担を軽減しつつ消防団員として実際に使える技能を習得できるような訓練形式に、是非改革して行ってほしいと思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお店や企業、学校などにポスターなど貼っていただくか、学校などは直接勧誘してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私のいる女性隊のほとんどが役場職員です。一般企業の方にも入ってもらえるように県や町と取り組めていけたらありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人負担を徴収されることについて。勧誘される際はそんな話は一切なかったのに急に請求されたのはおかしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の過疎化高齢化等による担い手不足に向けた取り組み。消防団に限らず地域の様々な役割と掛け持ちを強いられている。行政として、地域運営のあり方の見直し、優先順位の低いプロジェクトや組織体や会議や役割を撤廃するなど、運営体制のスリム化に緊急かつ強力に取り組んで頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月 1 日、15 日に行う半鐘を火の見櫓に登って実施しているが、他の地区では、放送やボタン形式でできるところもあると聞きました。団員の負担を減らせるところをお願いしたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ラップは災害時の貢献がかなりレアケースであり、個人的にあまり貢献できていないように感じます。曲に対応した動きを理解していない人も多いため、ラップの必要性・負担との釣り合いを再考して頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生や若年層向けの広報活動、消防団員としての活動をするにあたっての利点の強化。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入団のメリットを作ったり、もっと伝えたりすべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団の魅力を PR してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 準中型自動車免許の取得補助。機能別団員の拡充や外国人団員の参加。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入団は簡単だが、退団はしづらい雰囲気がある。退団希望者の聞き取りを義務付けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転者などに消防活動や奉仕団の説明。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは定数の見直しと管理する詰所や車両の台数の見直し。また分団や市町村単位での広域合併の際のルール作りなど。人口減少と少子化で消防団員も高齢化が進んでいくので抜本的な改革が急務。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現役世代の声を聞いてほしい。この様なアンケートは各自治体で行い、より地域の状況にあった政策を検討すべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸人やユーチューバーのコラボを通しての活動や規律の重要性の PR。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 団員確保に向けた現場の取り組みを報告、情報交換する場を設けてみてはいかがでしょうか。好事例の掘り起こしや横展開に繋がるのではないかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々(子供も含め)に消防団があつてよかったと思ってもらえるような、事例の紹介。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団の活動を広報誌等で紹介したり、団員の紹介を行うのはどうでしょうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式等人の集まりでの広報。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の勧誘活動は県や市町村に直接取り組んでほしい。PR 活動を積極的に行っており、一定の評価はできるが、まだ実際の勧誘に結び付いてる実感がない。

第3章 参考資料

1. 調査項目詳細

1. ご自身について

問1 あなたの年齢を選択してください。(令和7年1月1日時点)(選択は1つ)

- ① 10代～29歳 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50歳以上

問2 あなたの性別を選択してください。(選択は1つ)

- ① 男性 ② 女性 ③ 無回答

問3 あなたの主たるご職業を選択してください。(選択は1つ)

- ① 会社員・団体職員 ② 会社役員 ③ 公務員 ④ 自営業 ⑤ 専業主婦・主夫
⑥ パート・アルバイト ⑦ 学生 ⑧ 無職 ⑨ その他(30字以内)

問4 あなたの所属している消防団の地域を選択してください。(選択は1つ)

- ① 佐久地域(小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町)
② 上田地域(上田市、東御市、長和町、青木村)
③ 諏訪地域(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村)
④ 上伊那地域(伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村)
⑤ 南信州地域(飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村)
⑥ 木曾地域(上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村)
⑦ 松本地域(松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村)
⑧ 北アルプス地域(大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村)
⑨ 長野地域(長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村)
⑩ 北信地域(中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村)

問5 あなたが現在所属している消防団の加入期間を選択してください。(令和7年1月1日時点)(選択は1つ)

- ① 5年未満 ② 5年以上10年未満 ③ 10年以上15年未満 ④ 15年以上20年未満 ⑤ 20年以上

問6 あなたの階級を選択してください。(令和7年1月1日時点)(選択は1つ)

- ① 団員(機能別団員含む) ② 班長・部長・副分団長 ③ 分団長以上

2. 消防団活動について

問7 あなたが消防団に入団したきっかけについて、最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

- ① 先輩団員の勧誘
- ② 家族の勧め
- ③ 友人・仲間の誘い
- ④ 消防のイベントやSNS・ホームページを見て
- ⑤ その他 (30字以内)

問8 あなたが消防団に入団した理由について、最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

- ① 地域に貢献したいと思ったから
- ② 友人や仲間づくりをしたいと思ったから
- ③ 雰囲気を楽しそうだから
- ④ 防災知識を身につけたいから
- ⑤ 団員の誘いや家族の勧めを断れなかったから
- ⑥ その他 (30字以内)

問9 現在、あなたは消防団では主にどのような活動をしていますか。最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

- ① 訓練及び火災発生時(水防や捜索を含む)の現場対応
- ② 広報や予防啓発活動
- ③ 音楽隊・ラッパ隊
- ④ 団本部(役員、幹部等)
- ⑤ 活動していない(休団中など)
- ⑥ その他 (30字以内)

問10 あなたにとって、消防団活動はやりがいがありますか。(選択は1つ)

- ① ある
- ② ややある
- ③ どちらともいえない
- ④ あまりない
- ⑤ ない

問11 あなたが、消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか。最も当てはまるものを選択してください。(選択は1つ)

- ① 地域の役に立っている実感を得られること
- ② 消防団でしか得られない経験ができること
- ③ 消防・救命の技術や防災知識を習得できること
- ④ 知人・仲間が増えること
- ⑤ 就職活動などでPRできること
- ⑥ 報酬・手当が支給されること
- ⑦ 特にない
- ⑧ その他 (30字以内)

問 12 あなたが、消防団活動で負担（不満）に感じること（もの）は何ですか。（特に当てはまるものを3つまで）

- ① 訓練や出動が多いこと
- ② 訓練や出動が少ないこと
- ③ 操法大会や出初式などの行事が多いこと
- ④ 住民への指導や広報活動
- ⑤ 体力面が不安
- ⑥ 職場等に負担をかけること
- ⑦ 家族に負担をかけること
- ⑧ 団員との人間関係や懇親会への参加
- ⑨ 個人として金銭的な負担があること
- ⑩ 報酬が少ないこと
- ⑪ 会計管理や書類作成などの庶務が多いこと
- ⑫ その他（30字以内）
- ⑬ 特にない

問 13 あなたが現在所属している消防団の団員数は、消防団活動を行うにあたって充足していますか。又は支障がありますか。（選択は1つ）

- ① 充足している
- ② 団員数は充足しているが、勤務などの理由により出動できない団員がいるため、消防団活動に支障が出ている
- ③ 団員数は不足しているが、消防団活動に支障はない
- ④ 団員数が不足しており、消防団活動に支障が出ている
- ⑤ その他（50字以内）

3. 長野県で行っている消防団に関する施策について

問 14 令和6年1月から12月の間に、県で行っている「信州消防団員応援ショップ事業」を利用したことがありますか。（選択は1つ）

【信州消防団員応援ショップ事業】

応援ショップに登録している店舗で団員本人又は家族が信州消防団員カードを提示することにより、割引などのサービスを受けることができる事業です。

- ① ほぼ毎週利用した
- ② ほぼ毎月利用した
- ③ 2,3か月に1回利用した
- ④ 年に1~3回利用した
- ⑤ 利用したことはない

⇒ 「⑤ 利用したことはない」と回答した方にお尋ねします。利用したことがない理由を選択してください。（選択は1つ）

- ① 信州消防団員カードを持っていない（なくした）から
- ② 信州消防団員カードを持っているが、応援ショップ事業の内容を知らなかったから

- ③ 応援ショップ事業を知っているが、利用できる店舗がわからないから
- ④ 応援ショップ事業を知っているが、利用したい店舗がないから
- ⑤ 応援ショップ事業を知らないから
- ⑥ その他（30字以内）

問15 今後、県内のどのようなジャンルの店舗が応援ショップに加わるとよいと思いますか。（特に当てはまるものを2つまで）

- ① 食料品や生活用品を購入する店舗
- ② 教育関係や文化施設
- ③ 娯楽施設やスポーツ施設
- ④ 飲食店
- ⑤ 理美容や自動車関係など暮らしに関する店舗
- ⑥ 宿泊施設
- ⑦ その他（30字以内）
- ⑧ 現在ある施設で充分である

問16 県で行っている「消防団協力事業所に関する優遇措置（事業税の減税等）」を知っていますか。（選択は1つ）

- ① 知っている ② 聞いたことはあるが内容は知らない ③ 知らない

⇒「① 知っている」と回答した方にお尋ねします。消防団員の従業員がいる事業所への支援について、どのような支援があるとよいと思いますか。（選択は1つ）

- ① 現状のままでよい ② 減税額の引上げ ③ 要件（消防団員数）の緩和
- ④ 補助金の支給 ⑤ 事業所への支援は不要 ⑥ その他（30字以内）

4. 所属している消防団について

問17 あなたの所属する消防団において、団員確保のために、働きかけたほうがよいと思う対象者はどのような方ですか。（特に当てはまるものを2つまで）

- ① 自営業者 ② 地域企業の従業員 ③ 学生 ④ 女性 ⑤ 県内外からの転入者
- ⑥ 外国人住民 ⑦ その他（30字以内） ⑧ 特にない・働きかける必要はない

問18 あなたの所属する消防団において、団員確保のために、（今まで以上に）取り組むべきと思うものは何ですか。（特に当てはまるものを2つまで）

- ① 地域企業に対する働きかけ
- ② 学生を対象とした消防団への勧誘
- ③ 女性を対象とした消防団への勧誘
- ④ 移住者（外国人含む）を対象とした消防団への勧誘
- ⑤ 団員向けの助成制度の充実（準中型免許等の取得費用の助成など）
- ⑥ 機能別分団（団員）の導入（拡大）

- ⑦ その他（30字以内）
- ⑧ 特にない・取り組む必要はない

問 19 あなたの所属する消防団において、団員が消防団活動の継続が困難と思う時は、どのようなことが理由と考えられますか。最も当てはまるものを選択してください。（選択は1つ）

- ① 団の方針や人間関係、地域との付き合いへの不満など（心理的な負担）
- ② 仕事や家庭、学業との両立が困難なことなど（時間的な負担）
- ③ 団活動における体力面の不安など（身体的な負担）
- ④ 免許取得費用や飲み会など、個人負担が多いことなど（金銭的な負担）
- ⑤ 特に思うことはない
- ⑥ その他（30字以内）

問 20 あなたの所属する消防団において、消防団活動を充実させるためには、（今まで以上に）どのような取組や改善が必要と思いますか。（特に当てはまるものを2つまで）

- ① 地域の自治組織や関係団体との連携強化
- ② 職場への働きかけや消防団活動に協力する職場への支援
- ③ 家族を対象としたサービスの充実
- ④ 応援ショップの増加や利便性の向上
- ⑤ 児童・生徒を対象にした学校での防災教育（消防団の紹介）
- ⑥ 訓練や会議、行事の見直しや効率化
- ⑦ 消防団の設備や装備の更新
- ⑧ 消防団のイメージアップを図る広報の強化
- ⑨ その他（30字以内）
- ⑩ 特にない

5. 消防団での取組み等について

問 21 次の各項目について、現状で満足していますか。または改善が必要と考えますか。

1. 消防ポンプ操法大会・ラップ吹奏大会（大会に向けた訓練を含む）

- ① 現状で満足している
- ② 改善が必要

⇒「② 改善が必要」と回答した方にお尋ねします。改善が必要な理由や、改善案がありましたらご記入ください。（任意・200字以内）（以下、6まで同じ）

2. 団の行事や式典（出初式等）

- ① 現状で満足している
- ② 改善が必要

3. 設備や装備（詰所や資機材、活動服等）

- ① 現状で満足している
- ② 改善が必要

4. 消防団と地域との付き合いや祭事等の協力

- ① 現状で満足している
- ② 改善が必要

5. 分団や班における積立金や口座の管理

- ① 現状で満足している ② 改善が必要

6. 消防団の広報活動や団員の勧誘活動

- ① 現状で満足している ② 改善が必要

問 22 消防団員の確保や消防団活動の充実に向けて、県や市町村に取り組んでほしいことがあれば、ご記入ください。(任意・200字以内)

消防団員アンケート 調査結果報告書（全体版）

発行年月 令和7年10月

発行 長野県危機管理部消防課
〒380-8570
長野県長野市大字南長野字幅下 692-2
電話 026-235-7182